

当 初

令和8年度

道路維持修繕事業

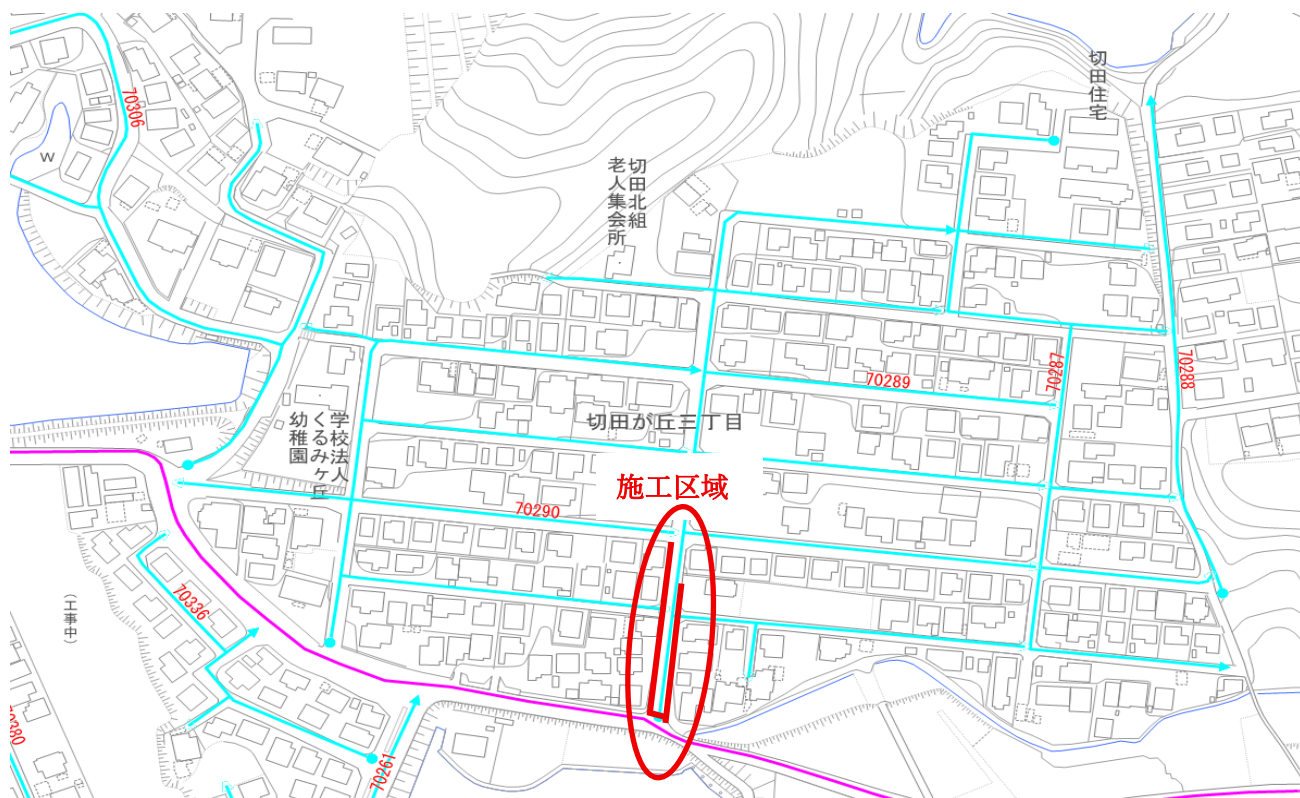
切田団地3号線道路修繕工事

仕様書

施 工 場 所 東広島市黒瀬切田が丘三丁目

東広島市

令和8年度 道路維持修繕事業 切田団地3号線道路修繕工事区域



特記仕様書

(令和8年度 道路維持修繕事業 切田団地3号線道路修繕工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 履行報告
5. 官公庁等への手続き等
6. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
8. 主任（監理）技術者及び現場代理人の配置について
9. 法定外の労災保険の付保
10. 週休2日適用工事等 週休2日
11. 建設副産物の取り扱いについて
12. 猛暑時間の施工回避

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 溶融スラグを利用した資材の使用

第3章 施工条件

1. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
2. 建設副産物
 - (1) 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））
 - (2) コンクリート殻（有筋）（搬出）
 - (3) コンクリート殻（無筋）（搬出）
 - (4) アスファルト殻（搬出）

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 施工計画書の記載事項の簡素化
5. 仮設工

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日を定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 履行報告

本工事は、小規模工事等であるため所定の様式での提出を省略し、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載の資料を監督職員に提出することにより、履行報告とする。なお、工期延長等が必要となった場合は、報告方法について監督職員と協議するものとする。

5. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面（写し）を提出するものとし、更新手続き（許可内容が同じもの）の場合は、届出等の鑑のみとする。

6. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyoushouhisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

 - 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定

（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。

- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4. 検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

8. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

9. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

10. 週休2日適用工事等 週休2日

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

11. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を

通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

12. 猛暑時間の施工回避

1 本工事は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を発注者と協議し設定できる工事である。

2 実施方法は次のとおりとする。

(1) 内容

ア 受注者は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を監督職員と協議し設定できる。

イ 作業時間を短縮した場合は、短縮時間に応じて、工期を延長することができるものとする。

ウ 工事における現地の立会等については、監督職員の勤務時間に合わせるものとする。

エ 対象期間は、6月1日から9月30日までとする。

(2) 工期延長日数の算出方法

工期の延長日数^{※1}(日)＝短縮時間(時間)×対象期間^{※2}(日)÷8(時間)

なお、猛暑日等による作業不能日とは、別に考慮できるものとする。

※1 小数第1位を切り上げるものとする。

※2 現場閉所日を含む。

3 作業時間の変更に伴う工事費の増額については、設計変更の対象としない。

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	

3. 熔融スラグを利用した資材の使用

1. 熔融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する熔融スラグ（以下「熔融スラグ」という。）を利用した資材を使用するよう努めるものとする。熔融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「熔融スラグの有効利用促進等に関する方針」「熔融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

2. 品質管理及び確認

1. で示したもののほか、熔融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」及び広島版「施工管理基準(令和7年8月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3. 再生加熱アスファルト混合物への使用

熔融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書（令和7年8月）」の「1-1-2-16 環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4. 適合規格

熔融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項 1.」）ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を熔融固化したコンクリート用熔融スラグ骨材」を適用するものとする。

第3章 施工条件

1. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・ 交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から35日間（1人／日）を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

2. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

切田が丘3号線

(名称) 光陽建設株式会社建設発生土リサイクルプラント

(所在地) 東広島市黒瀬町津江字イラスケ21852-5

(運搬距離) 5.4 km

(2) コンクリート殻(有筋)(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻(有筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 5.4 km を見込んでいる。

(3) コンクリート殻(無筋)(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻(無筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 5.4 km を見込んでいる。

(4) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 6.3 km を見込んでいる。

第4章 その他

1. 工事関係書類

(1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。

(2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和7年8月)」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 施工計画書の記載事項の簡素化

(1) 本工事は、「施工計画書の記載事項の簡素化要領(平成30年12月1日制定)」により、施工計画書の記載内容を省略することが出来る。

(2) 施工計画書から記載を省略した事項については、あくまでも記載のみを省略したものであり、当該事項については各種法令等に則り受注者の責において適切に実施する必要がある。

5. 仮設工

仮設工（任意）については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。
なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
道路改良		式		1	レベル1
排水構造物工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り(掘削)	土砂	式		1	レベル4
埋戻し	土砂(小規模)	式		1	レベル4
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		70	レベル4
残土等処分		m3		70	レベル4
側溝工		式		1	レベル3
自由勾配側溝		m		126	レベル4
側溝蓋		枚		95	レベル4
管渠工		式		1	レベル3
鉄筋コンクリート台付管	φ600	m		5	レベル4
集水枥・マンホール工		式		1	レベル3
現場打ち集水枥	18-8-25(20)BB	箇所		6	レベル4
蓋	鋼製グレーチング ますぶた 500×500用 T-25	枚		6	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3

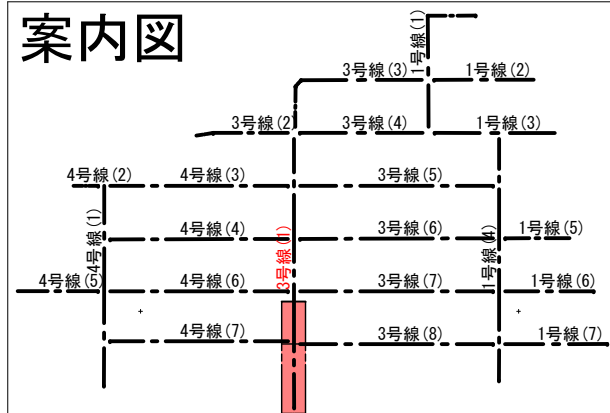
工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
コンクリート構造物取壊し		m3		3	レベル4
舗装版切断	アスファルト舗装版	式		1	レベル4
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m2		122	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし	m3		3	レベル4
殻運搬	舗装版破碎	m3		3	レベル4
殻処分	Co(無筋)	t		3	レベル4
殻処分	Co(鉄筋)	t		6	レベル4
殻処分	アスファルト	t		6	レベル4
舗装		式		1	レベル1
舗装工		式		1	レベル2
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
上層路盤(車道・路肩部)	RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	m2		80	レベル4
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスファルト混合物 13mm 1層当り平均仕上厚40mm	m2		180	レベル4
コンクリート張工		式		1	レベル3
コンクリート張	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m2		44	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
交通誘導警備員		人		35	レベル4
直接工事費					
共通仮設費率分					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					

[illegible]

切田団地3号線(2)

切田団地1号線(1)



切田団地4号線(3)

切田団地3号線(1)

切田 3号線(4)

切田団地3号線(5)

切田団地4号線(4)

切田団地3号線(6)

切田 地3号線(7)

切田団地4号線(6)

切田団地4号線(7)

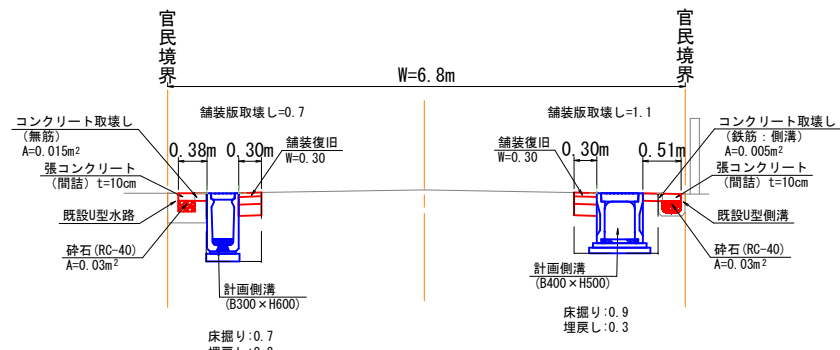
切田団地3号線(1)

業務箇所：東広島市黒瀬町切田が丘三丁目			
工 事 名	切田団地3号線道路修繕工事		
国 道 名	平 面 図		
作成年月日	令和 7年 3月		
縮 尺	1:250	図面番号	1 /
会 社 名	株式会社 陸地コンサルタント (中国開発建設株式会社 令和8年3月)		
事業署名	東 広 島 市		

標準横断図

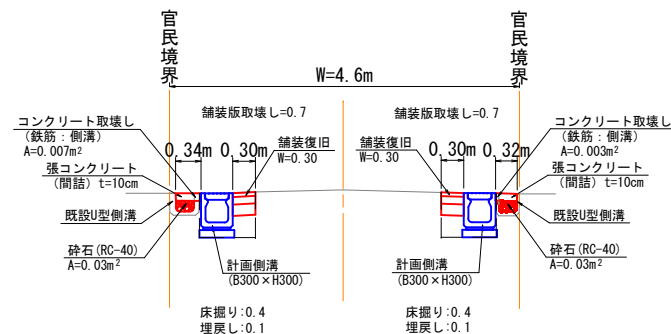
切田団地3号線(1) S=1:50

NO. 5付近



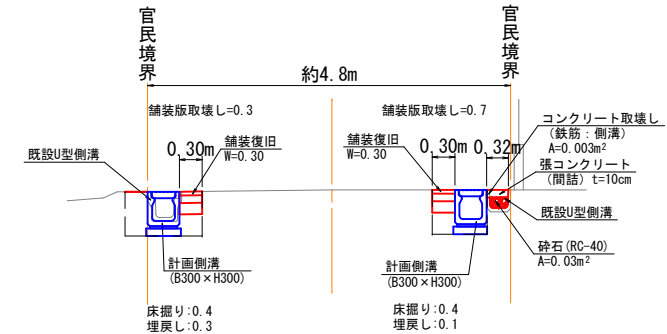
切田団地3号線(2) S=1:50

NO. 1 付近



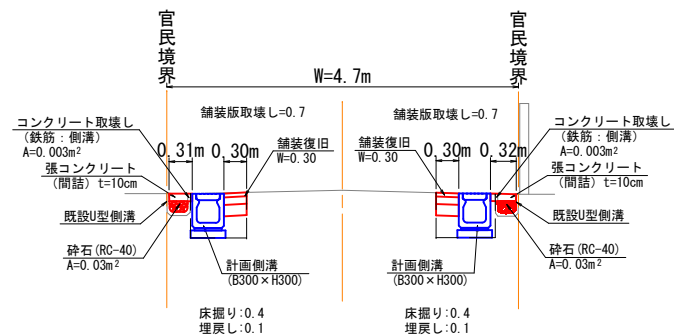
切田団地3号線(3)

NO. 3付近



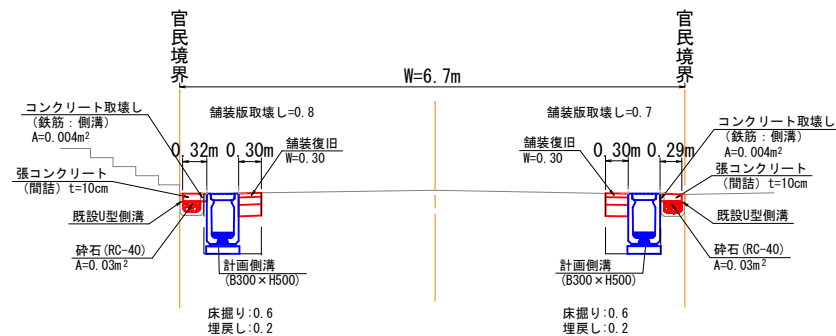
切田団地3号線(4) S=1:50

NO. 2付近



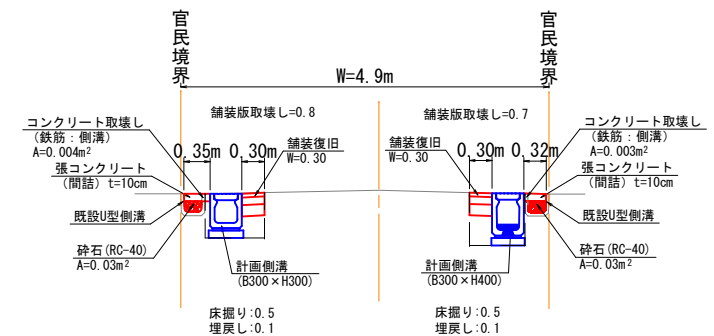
切田団地3号線(5) S=1:50

NO. 4付近



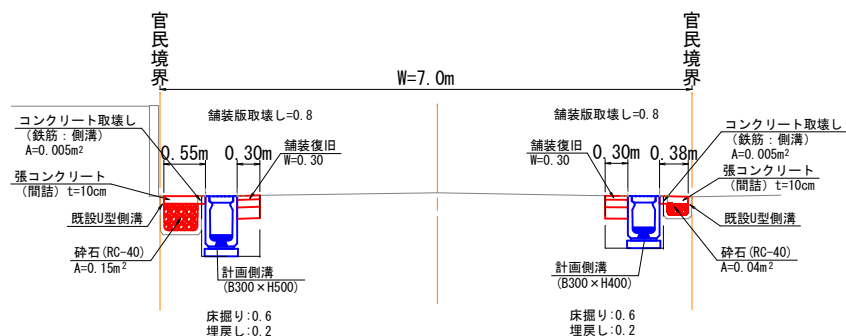
切田団地3号線(6) S=1:50

N0. 2+10付近



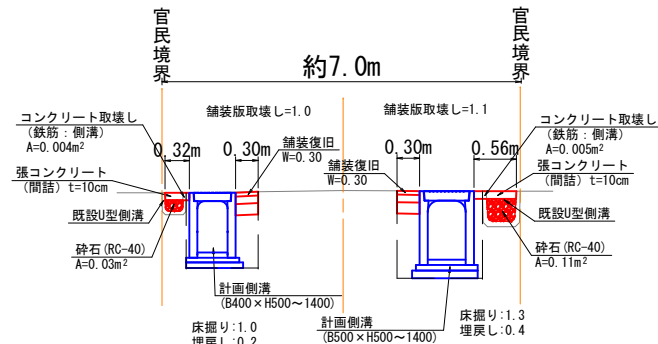
切田団地3号線(7) S=1:50

NO. 4付近



切田団地3号線(8) S=1:50

NO. 4付近



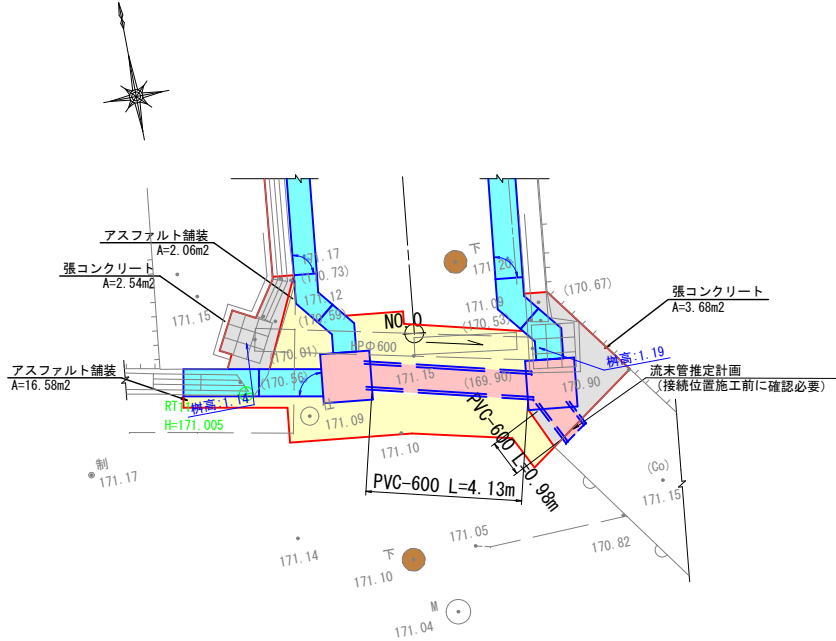
業務箇所：東広島市黒瀬町切田が丘三丁目

工事名	切田団地3号線道路修繕工事		
図面名	標 準 断 面 図		
作成年月日	令和 8年 3月		
縮 尺	1:50	図面番号	3 / 160
会社名	中国開発調査株式会社		
事業者名	東 島 広 市		

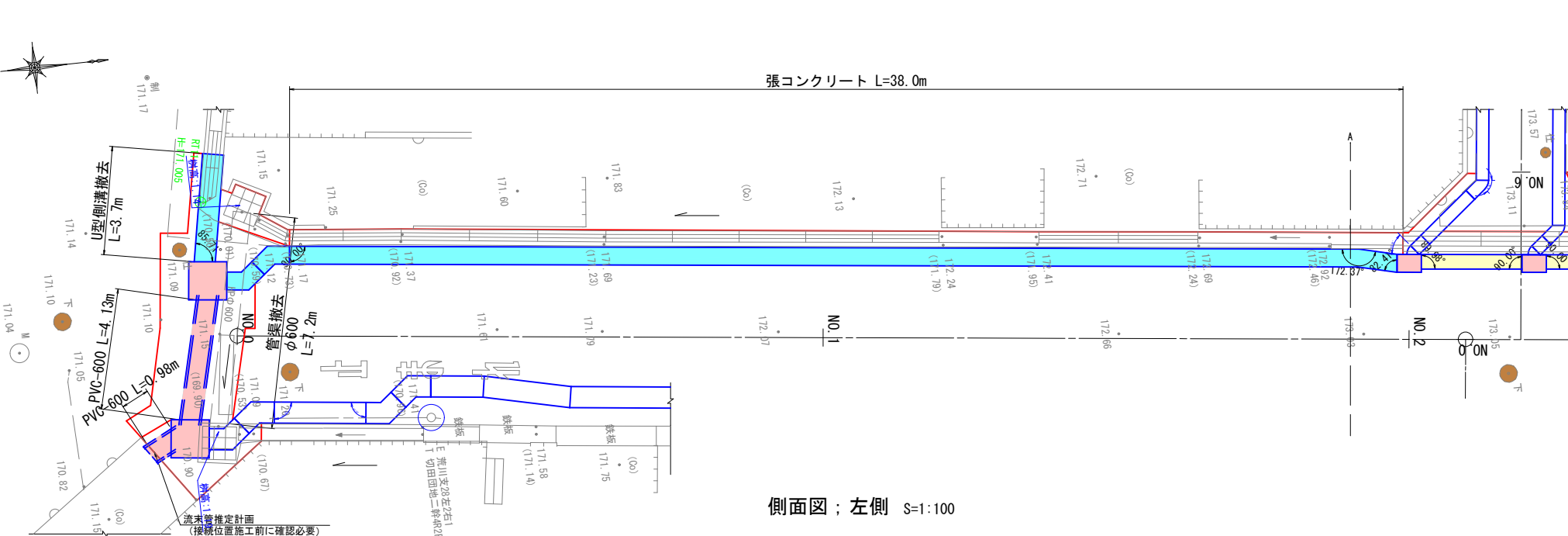
路側側溝詳細図 【左側】

切田団地3号線(1) (1/6)

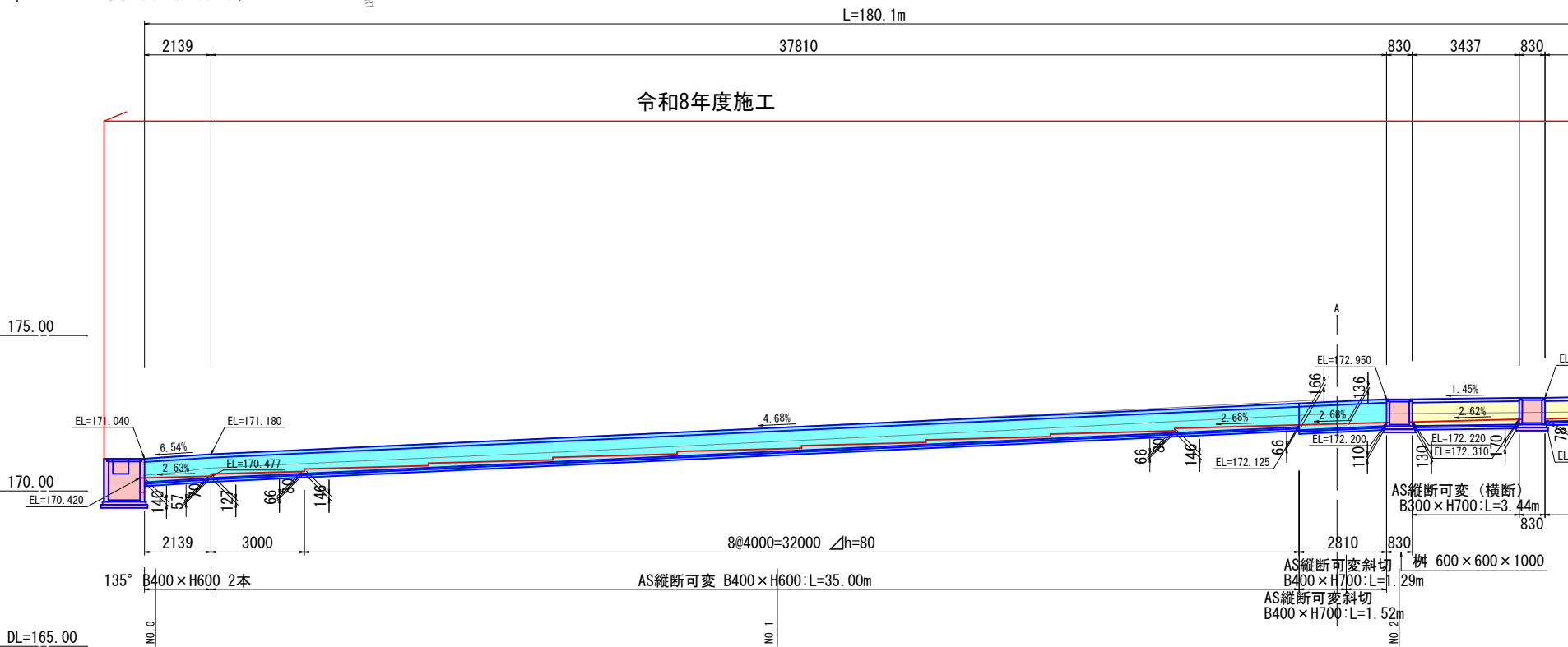
平面図；横断 S=1:100



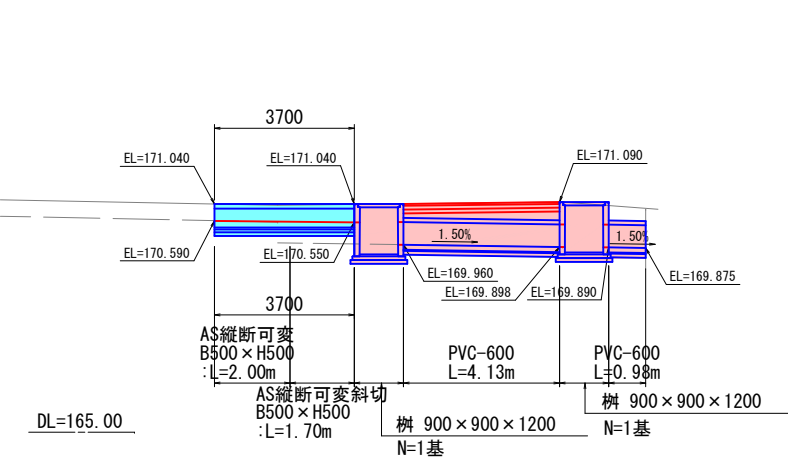
平面図；左側 S=1:100



側面図；左側 S=1:100



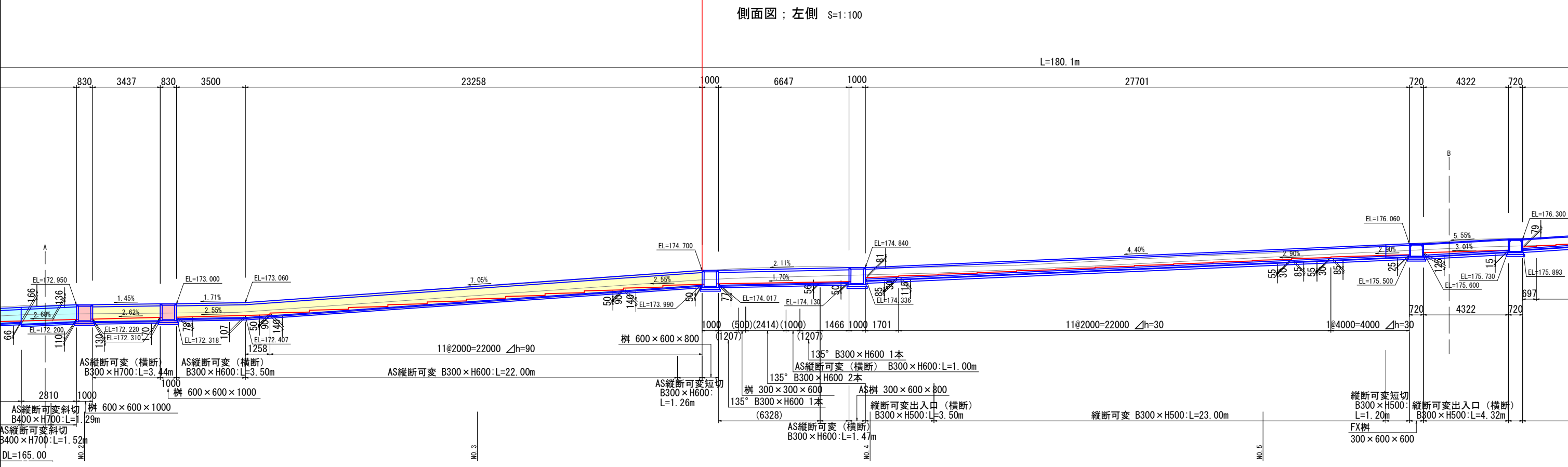
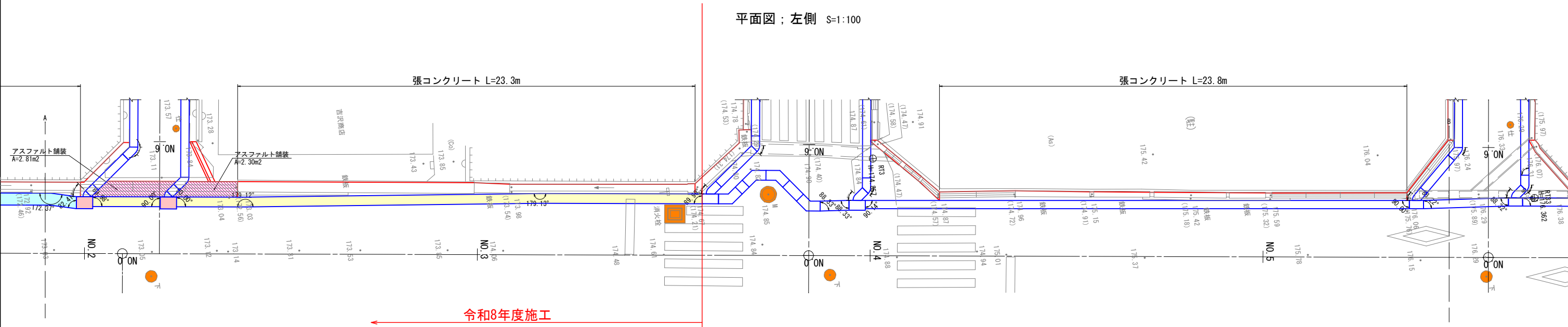
側面図；横断 S=1:100



業務箇所：東広島市黒瀬町切田が丘3丁目			
工事名	切田団地3号線道路修繕工事		
図面名	路側側溝詳細図（参考図）		
作成年月日	令和 8年 3月		
縮 尺	図示	図面番号	24 / 160
会社名	中国開発調査株式会社		
事業者名	東 広 島 市		

路側側溝詳細図

切田団地3号線(1) (2/6) 【左側】



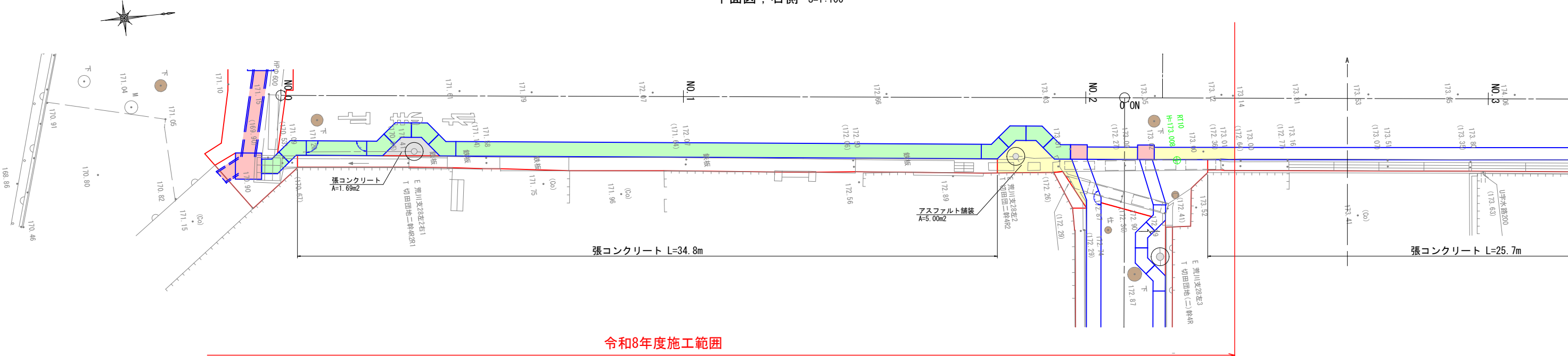
業務箇所：東広島市黒瀬町切田が丘三丁目

工事名	切田団地3号線道路修繕工事		
図面名	路側側溝詳細図（参考図）		
作成年月日	令和 8年 3月		
縮 尺	図示	図面番号	25 / 160
会社名	中国開発調査株式会社		
事業者名	東 広 島 市		

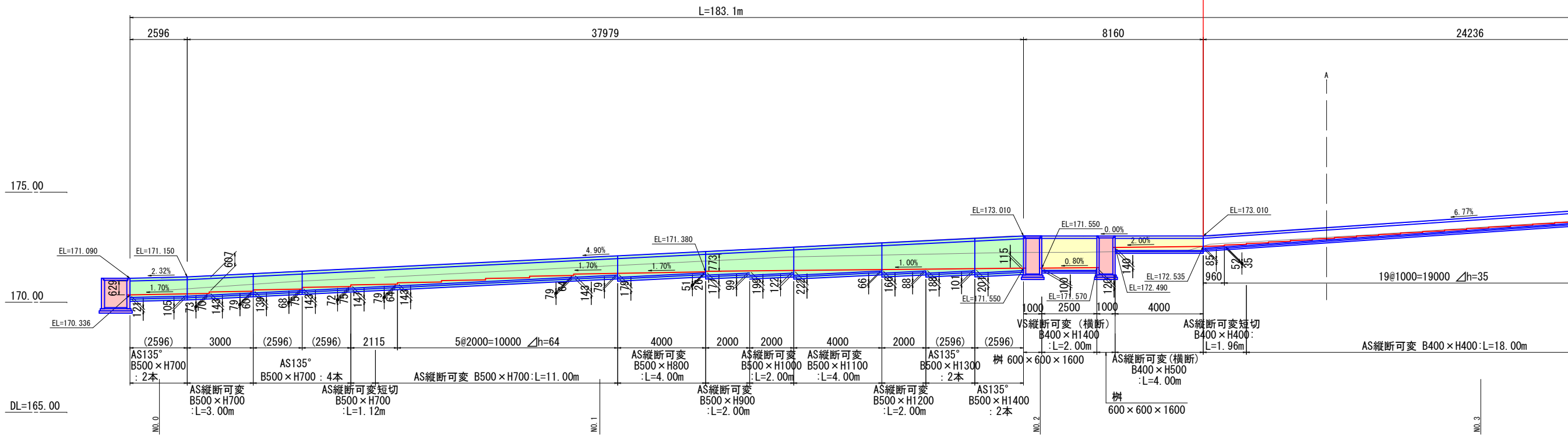
路側側溝詳細図

切田団地3号線(1) (4/6) 【 右 側 】

平面図；右側 S=1:100



側面図；右側 S=1:100

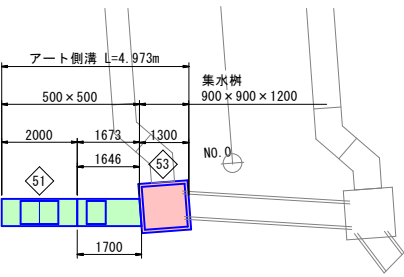


業務箇所：東広島市黒瀬町切田が丘三丁目			
工事名	切田団地3号線道路修繕工事		
図面名	路側側溝詳細図		
作成年月日	令和 8年 3月		
縮 尺	図示	図面番号	27 / 160
会社名	中国開発調査株式会社		
事業者名	東 広 島 市		

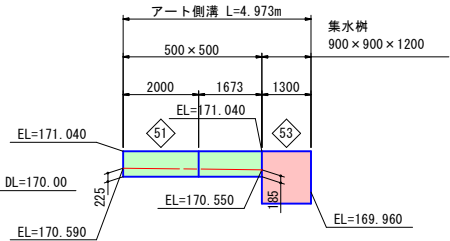
路側側溝割付図

切田団地3号線(1) (1/6) 【左側】

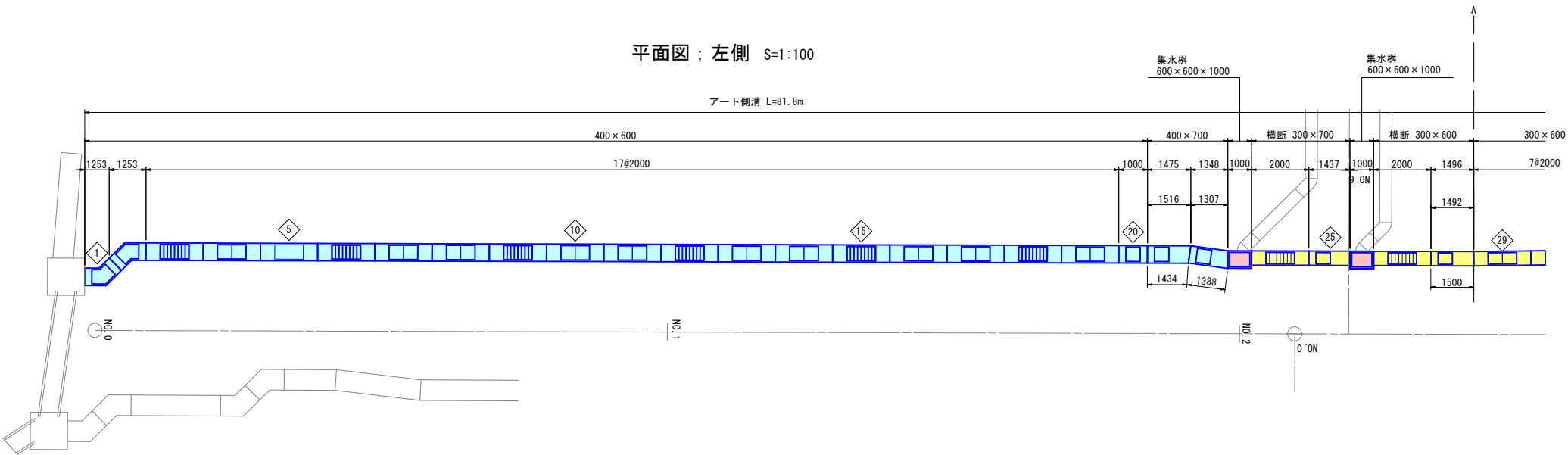
平面図；左側取付 S=1:100



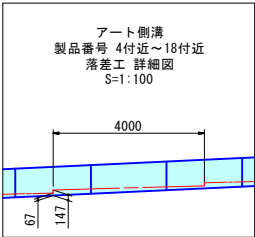
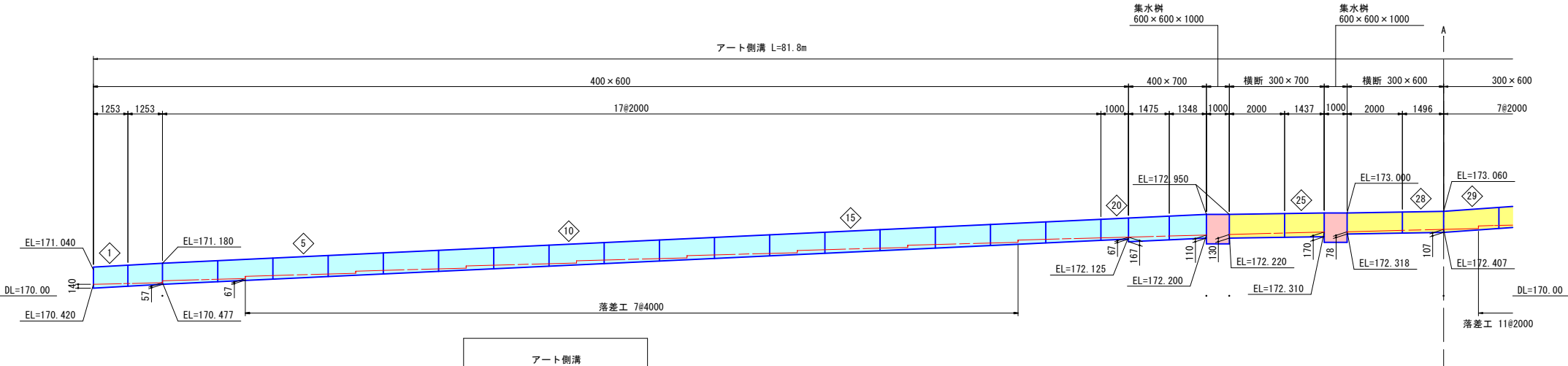
側面図；左側取付 S=1:100



平面図；左側 S=1:100



側面図；左側 S=1:100

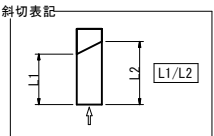


数量表 (FX側溝)

呼び名 (種類) (a × c) (L)			数量 (個)	備考	製品番号	
U形可変	縦断	300 × 400	2000	22	25-34, 44-55	
			500	1	24	
			1696	1	短切	23
			1728/1726	1	斜切	56
		300 × 500	2000	12	3-13, 35	
			500	1	14	
	300 × 600	1700	1	短切	15	
		出入口	300 × 400	2000	3	Zアングルボルト固定
	1500			2	22, 43	
	962/952			1	調整用 (L=1500) 斜切	37
	300 × 500		2000	4	Zアングルボルト固定	1, 17, 39-40
			1500	2		2, 18
823/811			1	調整用 (L=1500) 斜切	19	
コーナー	300 × 400		1	45° 右	58	
			1	45° 左	57	
FX脚	300 × 600 × 600		1	T-25・細目・ボルト固定	59	
	300 × 600 × 800		4		16, 20, 36, 41	
合計			59			

FX側溝: 数量表 (製品番号: ○)

種類	呼び名	数量	備考
FX蓋	300 L= 500	130	
	300 L=1000	3	調整用製品
	300 L=1000	7	縦断 T-25・細目
	300 L= 500	4	出入口 T-25・細目
	300 L=1000	18	出入口 T-25・細目
グレーチング蓋	300 L=1000	2	出入口 T-25・細目 調整用製品
	合計	164	

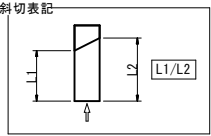


数量表 (アート側溝)

呼び名 (a x c)	(L)	種類	数量 (個)	備考	製品番号
300 x 600	2000	標準品	10		29-35, 37-39
	1000		2		36 40
	1259/1261	調整用	1	短切	41
	135° コーナー	4			43, 45-46, 48
	2000	標準品	17		3-19
	1000		1		20
	135° コーナー	2			1-2
	1516/1434	調整用	1	斜切	21
	1307/1388		1		22
	2000	標準品	1		51
400 x 600	1673	調整用	1	斜切	52
	2000	標準品	1	Zアングルボルト固定	27
	1000		1		47
	1492/1500	調整用	1	斜切	28
	1466/1452		1	Zアングルボルト固定	49
	2000	標準品	1	Zアングルボルト固定	24
	1437	調整用	1	Zアングルボルト固定・短切	25
	300 x 300 x 1000		1		44
	300 x 600 x 800		1		50
	300 x 600 x 1000	集水樹	1	T-25・細目・ボルト固定	42
400 x 700	600 x 600 x 1000		2		23 26
	900 x 900 x 1200		1		53
合計			53		

アート側溝: 数量表 (製品番号: ◇)

種類	呼び名	R08数	備考
ノイズレス蓋	300 L= 500	17	
	400 L= 500	25	
	500 L= 500	3	
	400 135° 用	2	
	300 L=1000	4	縦断 T-25
グレーチング蓋	400 L=1000	6	横断 T-25 (嵩上げ)
	300 L= 500	3	横断 T-25
	300 L= 500	1	横断 T-25
	300 L=1000	2	縦断 T-25 (2枚1組)
	300 135° 用		
合計			



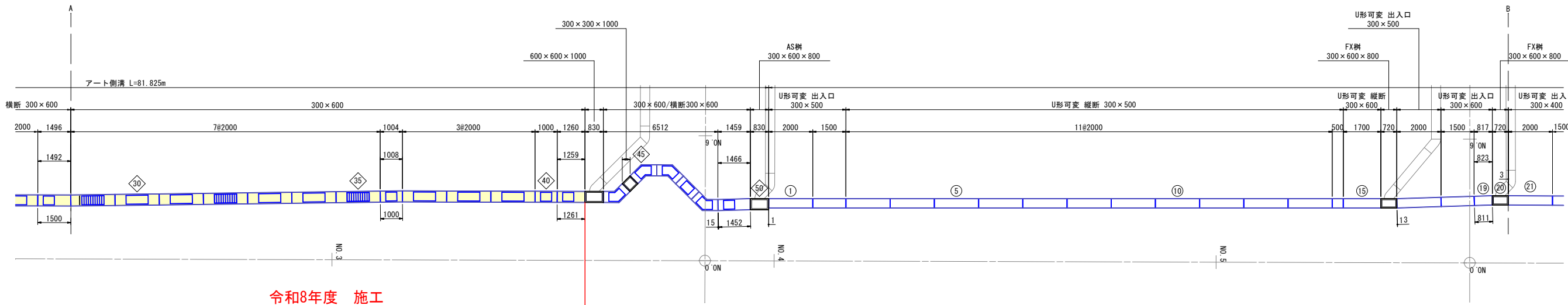
業務箇所：東広島市黒瀬町切田が丘三丁目

工事名	切田団地3号線道路修繕工事		
図面名	路側側溝割付図 (参考図)		
作成年月日	令和 8年 3月		
縮尺	図示	図面番号	98 / 160
会社名	中国開発調査株式会社		
事業者名	東広島市		

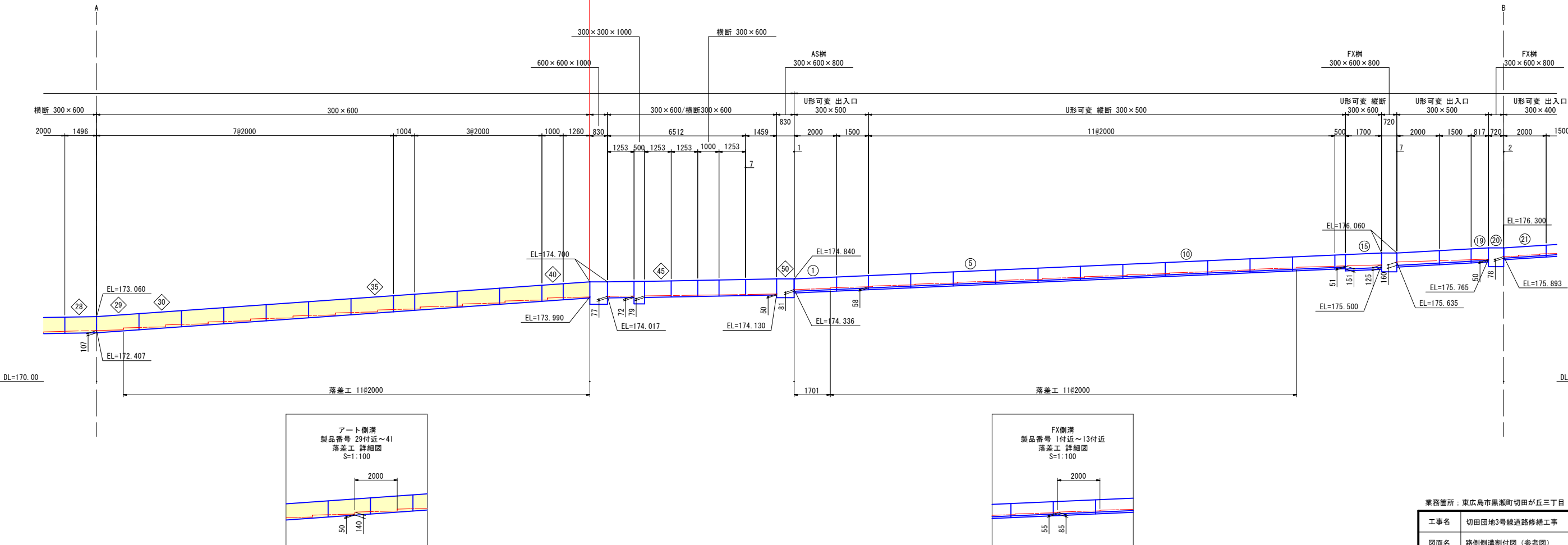
路側側溝割付図

切田団地3号線(1) (2/6) 【左側】

平面図；左側 S=1:100



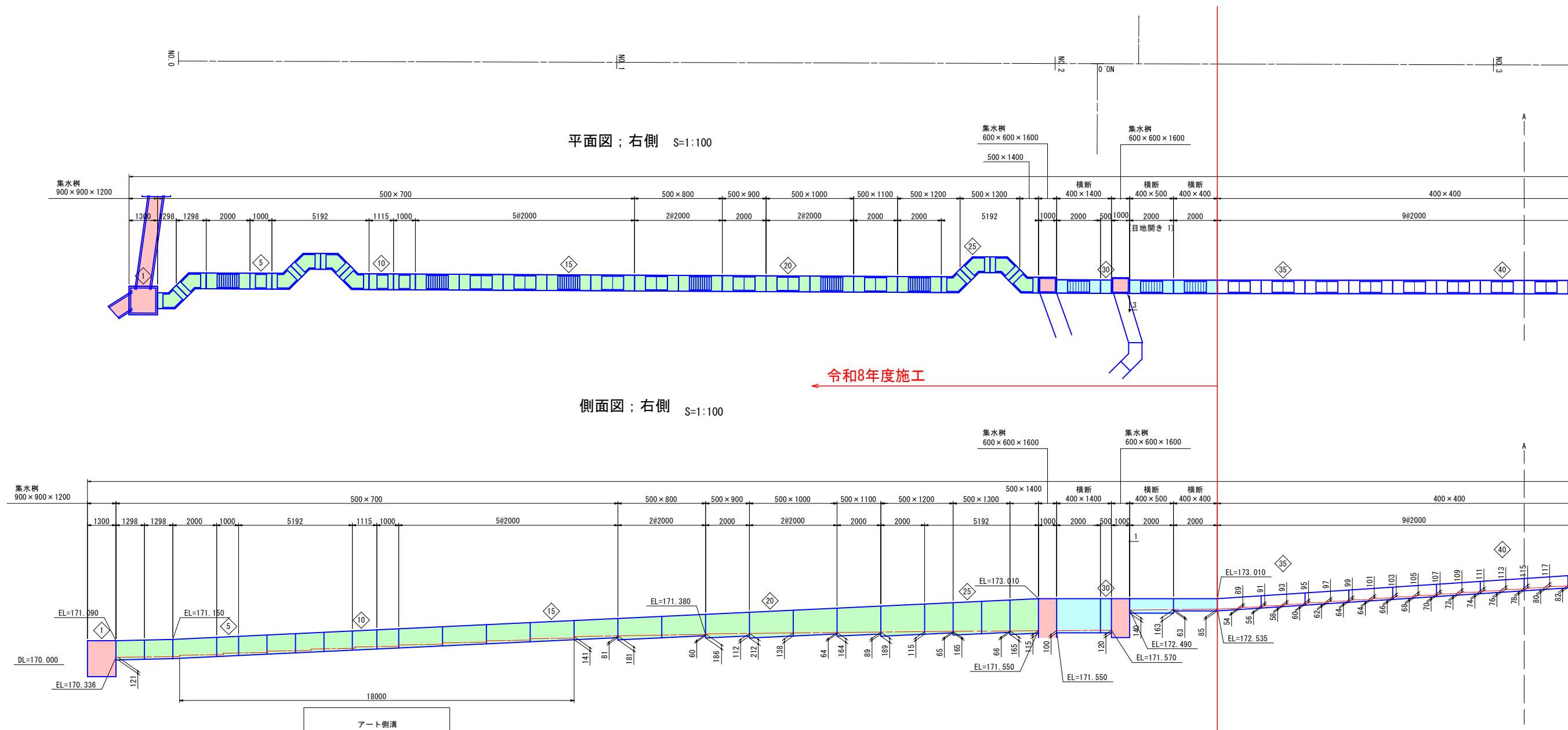
側面図；左側 S=1:100



業務箇所：東広島市黒瀬町切田が丘三丁目

工事名	切田団地3号線道路修繕工事		
図面名	路側側溝割付図（参考図）		
作成年月日	令和 8年 3月		
縮 尺	図示	図面番号	99 / 160
会社名	中国開発調査株式会社		
事業者名	東 広 島 市		

路側側溝割付図 【右側】
切田団地3号線(1) (4/6)



数量表 (FX側溝)				
FX側溝:数量表(製品番号:○)				
種類	呼び名 (a×c)	(L)	数量(個)	備考
U形可変	縦断	300×400	2000	3-12
		500	2	13, 18
		1568	1	短切
		831	1	16
	300×500	2000	1	20
		500	2	21-22
出入口	300×400	2000	1	Zアングルボルト固定
		1500	1	2
	300×400		1	30° 左
コーナー	300×400		1	30° 右
			2	45° 右
	FX樹	300×600×600	1	T-25・細目・ボルト固定
合計			24	

種類	呼び名	数量	備考
FX蓋	300 L= 500	46	
	300 L=1000	2	調整用製品
	300 L=1000	2	縦断 T-25・細目
	300 L= 500	1	出入口 T-25・細目
グレーチング蓋	300 L=1000	3	出入口 T-25・細目
	合計	54	

数量表 (アート側溝)				
呼び名 (a×c)	(L)	(種類)	R08数 数量(個)	製品番号
400×400	2000	標準品	9	34-42, 56-64, 77-85
	1959/1957	調整用	1	43
	1923/1922	調整用	1	86
	647/643	暗渠L=1000	1	65
400×500	135° コーナー	7	44, 66-67, 87-90	
	135° コーナー	4	45-46, 68-69	
400×600	135° コーナー	1	47	
	2000	標準品	6	4, 12-16
500×700	1000	標準品	2	5, 11
	1115	調整用	1	短切
500×800	135° コーナー	6	2-3, 6-9	
	2000	標準品	2	17-18
500×900	2000	標準品	1	19
500×1000	2000	標準品	2	20-21
500×1100	2000	標準品	1	22
500×1200	2000	標準品	1	23
	135° コーナー	1	24	
500×1300	135° コーナー	2	25-26	
500×1400	135° コーナー	1	27	

数量表 (アート側溝)				
呼び名 (a×c)	(L)	(種類)	R08数 数量(個)	製品番号
横断400×400	2000	標準品	1	Zアングルボルト固定
	1351	暗渠L=2000	1	短切・Zアングル
横断400×500	2000	標準品	1	Zアングルボルト固定
	1259/1260	暗渠L=2000	1	斜切・Zアングル
横断400×600	1000	暗渠L=1000	1	Zアングル
	2000	標準品	1	Zアングルボルト固定
横断400×1400	1755	暗渠L=2000	1	短切・Zアングル
	2000	標準品	1	Zアングルボルト固定
400×600×800	500	暗渠L=1000	1	短切・Zアングル
	400×600×1000		5	
400×600×1500			1	
	600×600×1600		2	
900×900×1400			1	
	合計		95	

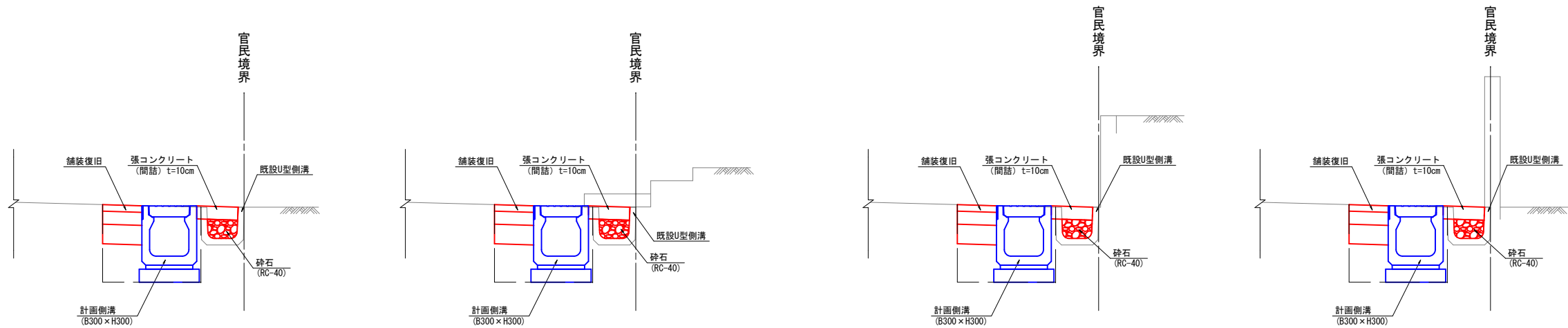
種類	呼び名	数量	備考
ノイズレス蓋	400 L= 500	17	
	500 L= 500	17	
	400 135° 用	12	
	500 135° 用	10	
グレーチング蓋	400 L=1000	3	縦断 T-25
	500 L=1000	6	縦断 T-25
	400 L=1000	3	横断 T-25
合計			

業務箇所：東広島市黒瀬町切田が丘三丁目

工事名	切田団地3号線道路修繕工事		
図面名	路側側溝割付図 (参考図)		
作成年月日	令和 8 年 3 月		
縮 尺	図示	図面番号	101 / 160
会社名	中国開発調査株式会社		
事業者名	東 広 島 市		

各種構造図

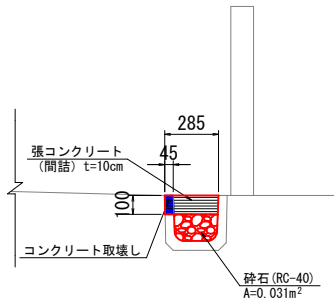
官民境界詳細図 S=1:20



隅切り部構造図 S=1:20

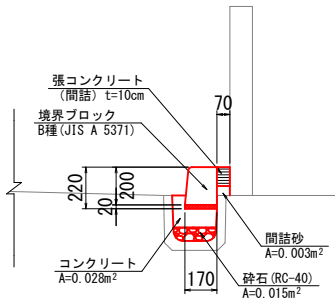
隅切りに水路が在る場合

隅切りエ (1)



材料表 10m当り		
種 別	規 格	数 量
コンクリート取壊し	鉄筋コンクリート (側溝)	0.045 m³
砕 石	RC-40	0.310 m³
張コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.285 m³

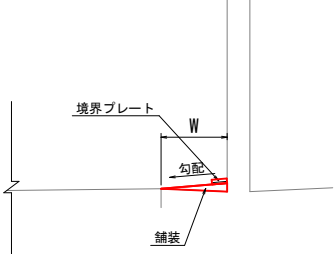
隅切りエ (2)



材料表 10m当り		
種 別	規 格	数 量
砕 石	RC-40	0.150 m³
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.280 m³
敷モルタル	1:3 高炉B t=20mm	0.034 m³
境界ブロック	B種 H=200 (JIS A 5371)	16,500 個
間 詰 砂	砂	0.030 m³
張コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.070 m³

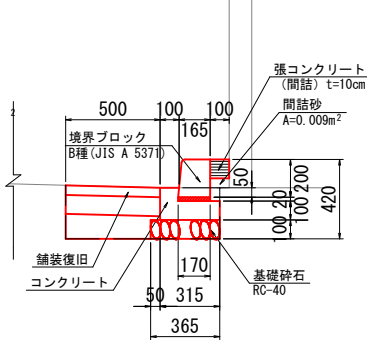
隅切りに水路がない場合

隅切りエ (3)



材料表 1箇所当り		
種 別	規 格	数 量
境界プレート	境界プレート	1.0 式

隅切りエ (4)



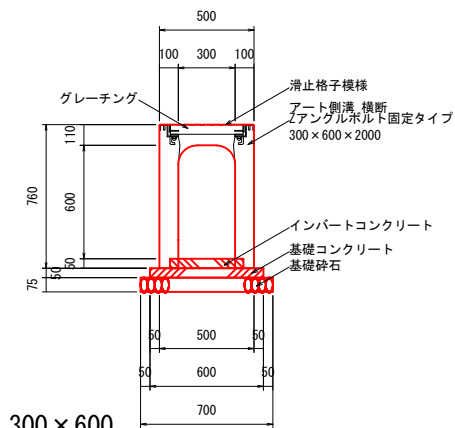
材料表 10m当り		
種 別	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40 t=100mm	3.650 m³
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.383 m³
敷モルタル	1:3 高炉B t=20mm	0.034 m³
境界ブロック	A種 H=200 (JIS A 5371)	16,500 個
間 詰 砂	砂	0.090 m³
張コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.100 m³

※1 境界ブロックは、土木構造物標準設計図集（広島県）の「B8-M200」を参照
※2 舗装復旧は別途計上

業務箇所：東広島市黒瀬町切田が丘三丁目

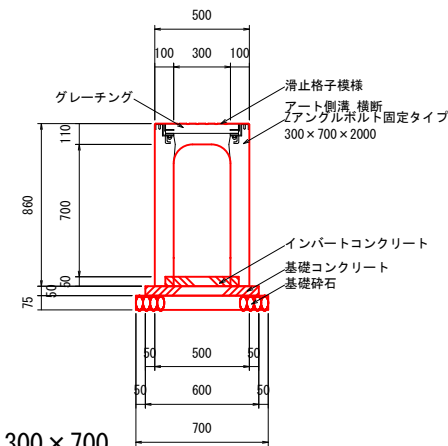
工事名	切田団地3号線道路修繕工事		
図面名	各種構造図（参考図）		
作成年月日	令和 8年 3月		
縮 尺	1:20	図面番号	153 / 160
会社名	中国開発調査株式会社		
事業者名	東 広 島 市		

各種構造図

AS-300 × 600 (横断) $S=1:20$ 
$$300 \times 600$$

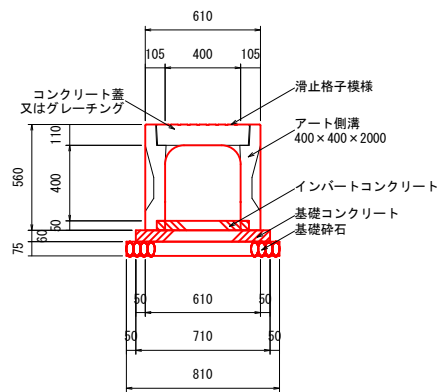
標準材料表		10m当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	7.000 m ² 0.525 m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.300 m ³
基礎コンクリート型枠		1.000 m ²
インパートコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.150 m ³
アート側溝 横断 Zアングルボルト固定タイプ	300×600×2000	5 本
グレーチング	300用 L=1000	5 枚

AS-300 × 700 (横断) S=1:20

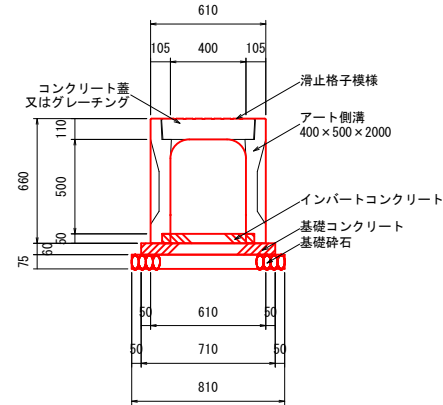
 300×700

標準材料表		10m当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	7.000 m ²
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.525 m ³
基礎コンクリート型枠		1.000 m ²
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.150 m ³
アート側溝 横断 Zアンクルボルト固定タイプ	300×700×2000	5 本
グレーチング	300用 L=1000	5 枚

AS-400 × 400 (可変) S=1:20

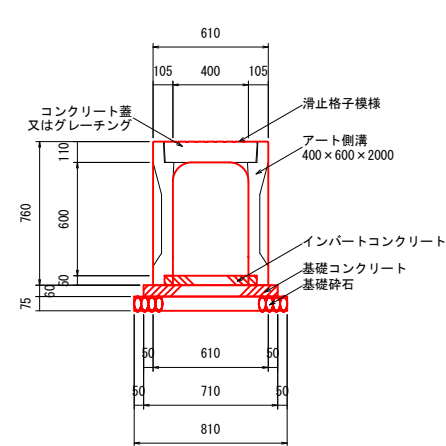


標準材料表		10m当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	8.100 m ²
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.608 m ³
基礎コンクリート型枠		1.200 m ²
インパットコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.200 m ³
アート側溝	400×400×2000	5 本
コンクリート蓋	400用 L= 500	8 枚
グレーチング	400用 L=1000	1 枚

AS-400 × 500 (可変) $s=1:20$ 

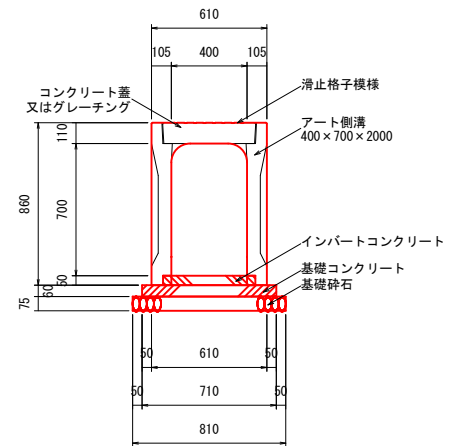
標準材料表		10m当
名 称	規 格	数 量
基礎礎石	RC-40又はC-40	8.100 m ²
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.426 m ³
基礎コンクリート型枠		1.200 m ²
インパットコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.200 m ³
アート側溝	400×500×2000	5 本
コンクリート蓋	400用 L= 500	8 枚
グレーティング	400用 L=1000	1 枚

AS-400 × 600 (可変) S=1:20



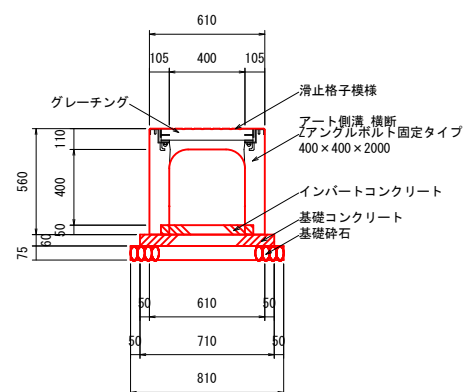
標準材料表		10m当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	8.100 m ²
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.608 m ³
基礎コンクリート型枠		1.200 m ²
インパートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.200 m ³
アート側溝	400×600×2000	5 本
コクワリト蓋	400用 L= 500	8 枚
グレーティング	400用 L=1000	1 枚

AS-400 × 700 (可変) S=1:20



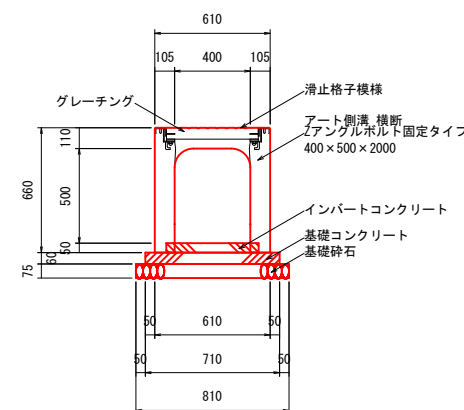
標準材料表		10m当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	8.100 m ² 0.608 m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.426 m ³
基礎コンクリート型枠		1.200 m ²
インパートコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.200 m ³
アート側溝	400×700×2000	5 本
コンクリート蓋	400用 L= 500	8 枚
グレーチング	400用 L=1000	1 枚

AS-400 × 400 (横断) S=1:20



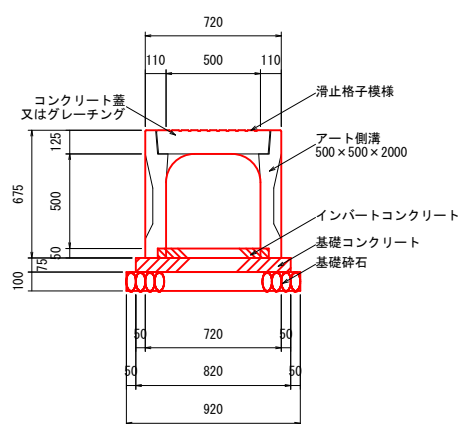
標準材料表		10m当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	8.100 m ² 0.608 m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.426 m ³
基礎コンクリート型枠		1.200 m ²
インパートコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.200 m ³
アート側溝 横断 Zアングルボルト固定タイプ	400×400×2000	5 本
グレーチング	400用 L=1000	5 枚

AS-400 × 500 (横断) S=1:20

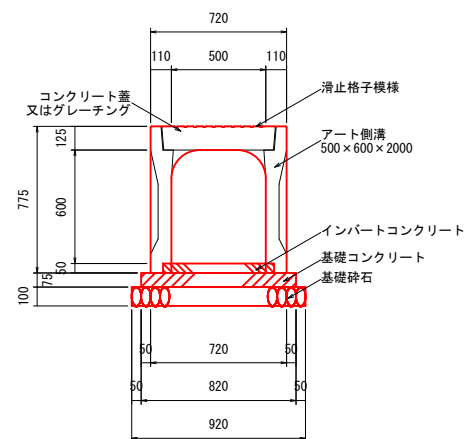


標準材料表		10m当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	8.100 m ² 0.608 m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.426 m ³
基礎コンクリート型枠		1.200 m ²
インバート側溝コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.200 m ³
アート側溝 横断 Zアンクルボルト固定タイプ	400×500×2000	5 本
グレーチング	400用 L=1000	5 枚

AS-500 × 500 (可変) S=1:20

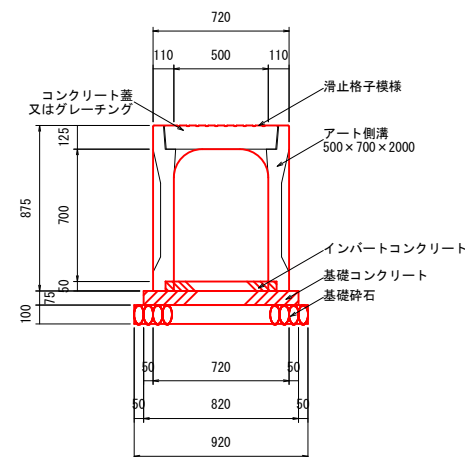


標準材料表		10m当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	9.200 m ²
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.920 m ³
基礎コンクリート型枠		1.500 m ²
インパットコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.250 m ³
アート側溝	500×500×2000	5 本
コンクリート蓋	500用 L= 500	8 枚
グレーチング	500用 L=1000	1 枚

AS-500 × 600 (可変) $S=1:20$ 

標準材料表		10m当
名 称	規 格	数 量
基礎礎石	RC-40又はC-40	9.200 m ²
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.615 m ³
基礎コンクリート型枠		1.500 m ²
インパートコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.250 m ³
アート側溝	500×600×2000	5 本
コンクリート蓋	500用 L= 500	8 枚
グレーチング	500用 L=1000	1 枚

AS-500 × 700 (可変) S=1:20



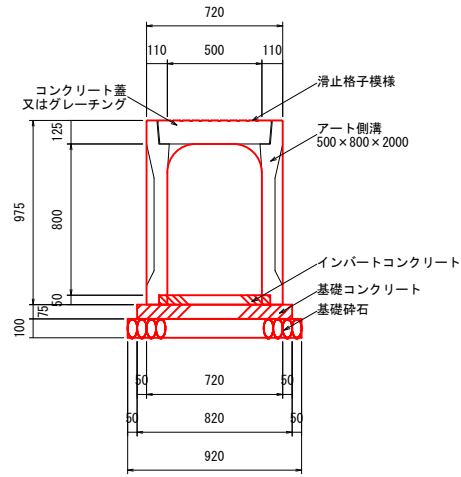
名 称	規 格	10m当り 数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	9.200 m ²
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.920 m ³
基礎コンクリート型枠		1.500 m ²
インパートコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.250 m ³
アート側溝	500×700×2000	5 本
コンクリート蓋	500用 L= 500	8 枚
グレーティング	500用 L=1000	1 枚

業務箇所：東広島市黒瀬町切田が丘三丁目

工事名	切田団地3号線道路修繕工事		
図面名	各種構造図（参考図）		
作成年月日	令和 8年 3月		
縮 尺	1:20	図面番号	156 / 160
会社名	中国開発調査株式会社		
事業者名	東 広 島 市		

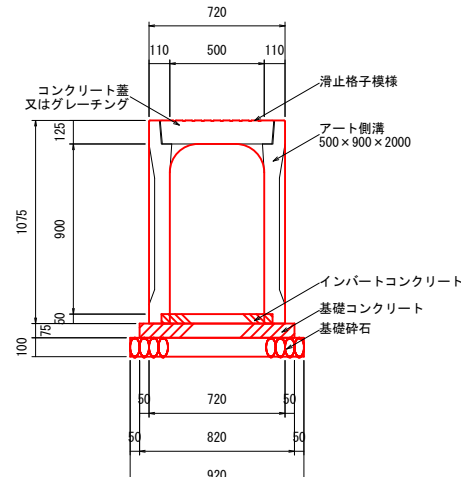
各種構造図

AS-500×800（可変） S=1:20



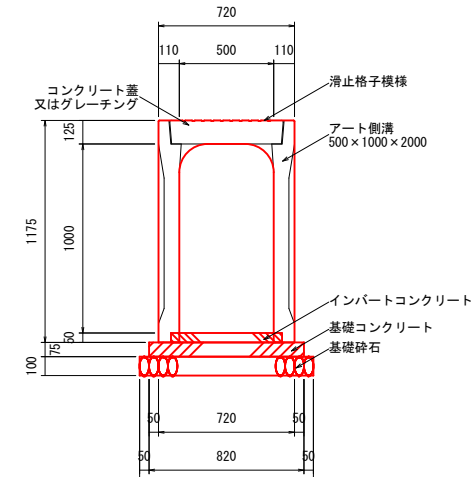
標準材料表 10m当り		
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	9.200 m ²
		0.920 m ³
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.615 m ³
基礎コンクリート型枠		1.500 m ²
インバートコンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.250 m ³
アート側溝	500×800×2000	5 本
コンクリート蓋	500用 L= 500	8 枚
グレーチング	500用 L=1000	1 枚

AS-500×900（可変） S=1:20



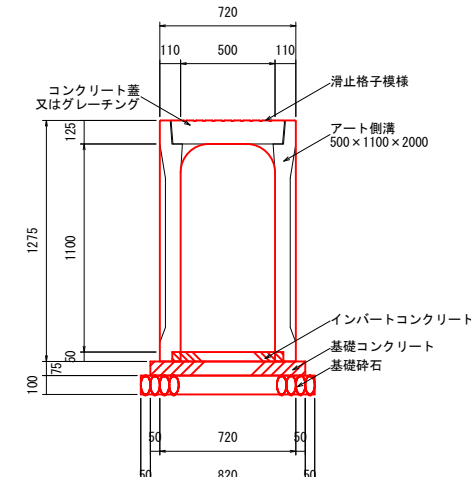
標準材料表 10m当り		
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	9.200 m ²
		0.920 m ³
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.615 m ³
基礎コンクリート型枠		1.500 m ²
インバートコンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.250 m ³
アート側溝	500×900×2000	5 本
コンクリート蓋	500用 L= 500	8 枚
グレーチング	500用 L=1000	1 枚

AS-500×1000（可変） S=1:20



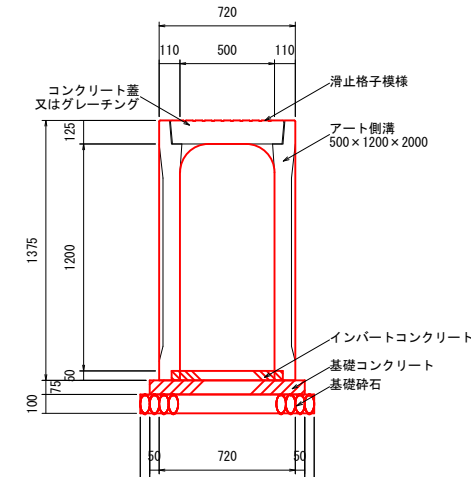
標準材料表 10m当り		
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	9.200 m ²
		0.920 m ³
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.615 m ³
基礎コンクリート型枠		1.500 m ²
インバートコンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.250 m ³
アート側溝	500×1000×2000	5 本
コンクリート蓋	500用 L= 500	8 枚
グレーチング	500用 L=1000	1 枚

AS-500×1100（可変） S=1:20



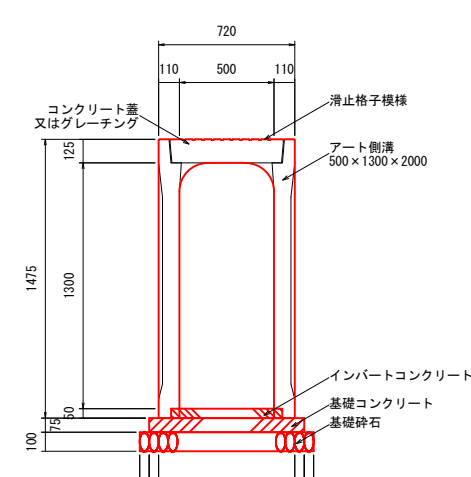
標準材料表 10m当り		
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	9.200 m ²
		0.920 m ³
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.615 m ³
基礎コンクリート型枠		1.500 m ²
インバートコンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.250 m ³
アート側溝	500×1100×2000	5 本
コンクリート蓋	500用 L= 500	8 枚
グレーチング	500用 L=1000	1 枚

AS-500×1200（可変） S=1:20



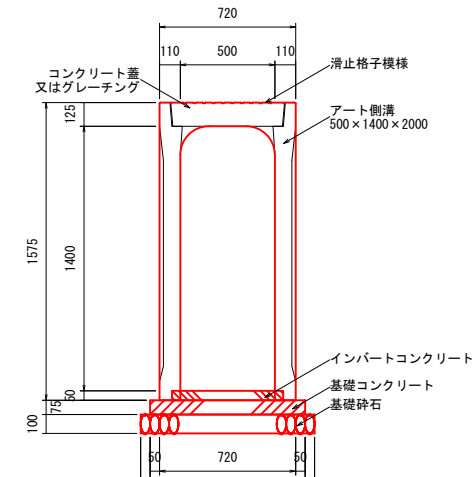
標準材料表 10m当り		
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	9.200 m ²
		0.920 m ³
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.615 m ³
基礎コンクリート型枠		1.500 m ²
インバートコンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.250 m ³
アート側溝	500×1200×2000	5 本
コンクリート蓋	500用 L= 500	8 枚
グレーチング	500用 L=1000	1 枚

AS-500×1300（可変） S=1:20



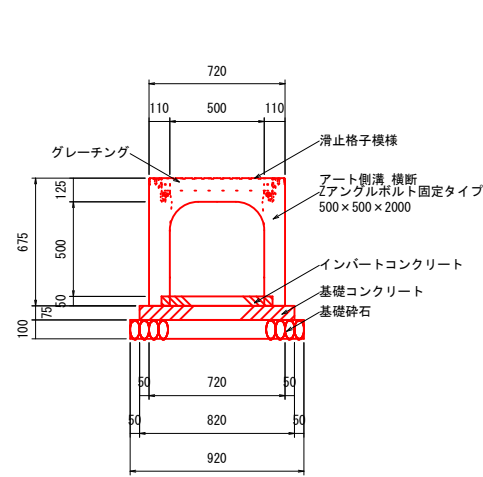
標準材料表 10m当り		
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	9.200 m ²
		0.920 m ³
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.615 m ³
基礎コンクリート型枠		1.500 m ²
インバートコンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.250 m ³
アート側溝	500×1300×2000	5 本
コンクリート蓋	500用 L= 500	8 枚
グレーチング	500用 L=1000	1 枚

AS-500×1400（可変） S=1:20



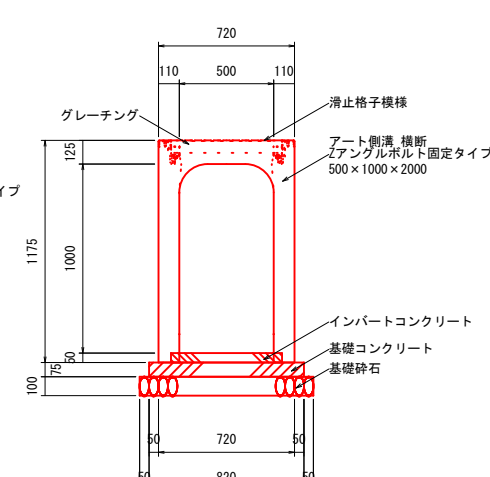
標準材料表 10m当り		
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	9.200 m ²
		0.920 m ³
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.615 m ³
基礎コンクリート型枠		1.500 m ²
インバートコンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.250 m ³
アート側溝	500×1400×2000	5 本
コンクリート蓋	500用 L= 500	8 枚
グレーチング	500用 L=1000	1 枚

AS-500×500（横断） S=1:20



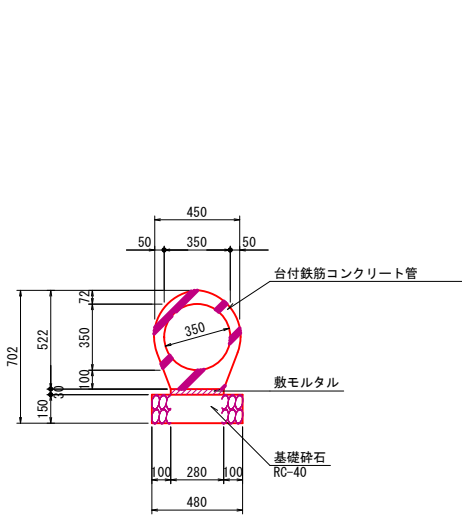
標準材料表 10m当り		
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	9.200 m ²
		0.920 m ³
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.615 m ³
基礎コンクリート型枠		1.500 m ²
インバートコンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.250 m ³
アート側溝 横断 Zアングルボルト固定タイプ	500×500×2000	5 本
グレーチング	500用 L=1000	5 枚

AS-500×1000（横断） S=1:20



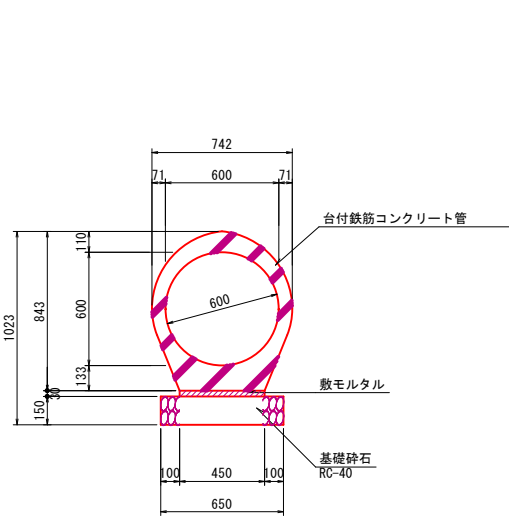
標準材料表 10m当り		
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40又はC-40	9.200 m ²
		0.920 m ³
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.615 m ³
基礎コンクリート型枠		1.500 m ²
インバートコンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.250 m ³
アート側溝 横断 Zアングルボルト固定タイプ	500×1000×2000	5 本
グレーチング	500用 L=1000	5 枚

PVC-350 S=1:20



材料表 10m当り		
種 別	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40 t=150mm	4.800 m ²
敷モルタル	1:3 高炉B t=30mm	0.084 m ³
重 圧 管	D350 L=2000mm	5 本

PVC-600 S=1:20



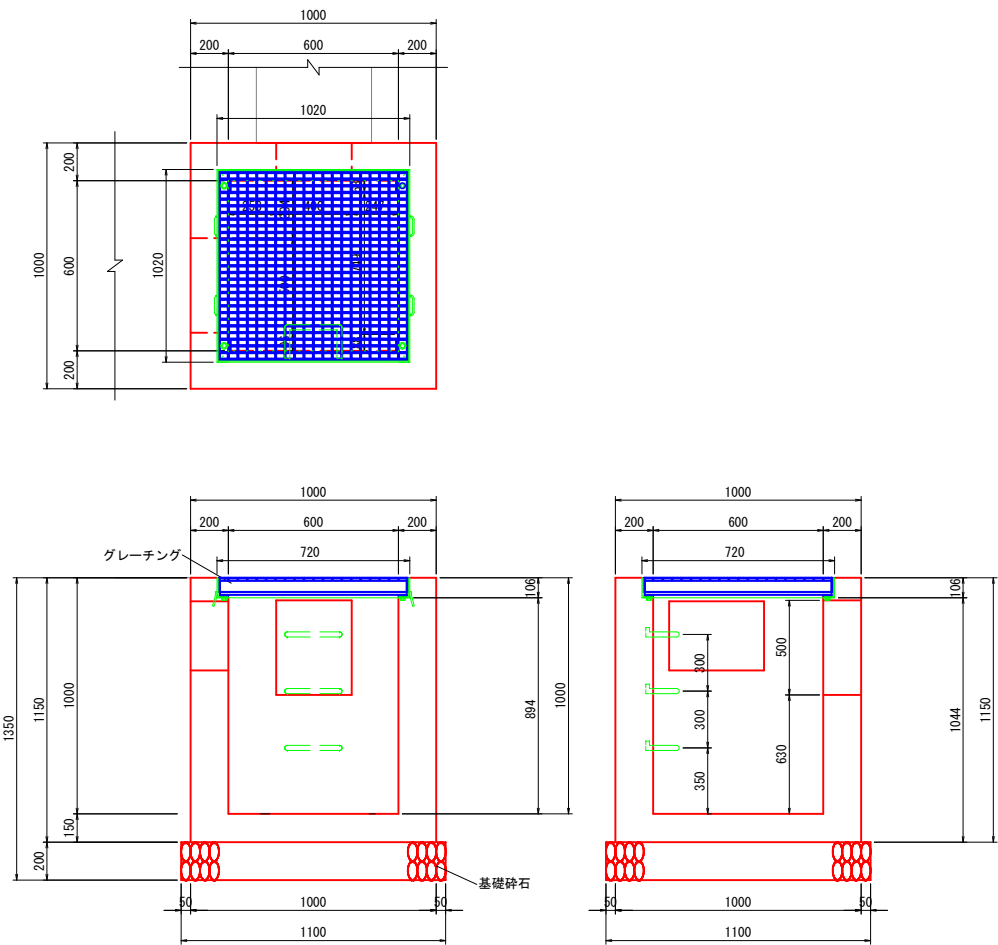
材料表 10m当り		
種 別	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40 t=150mm	6.500 m ²
敷モルタル	1:3 高炉B t=30mm	0.135 m ³
バイコン台付管	600BZ L=2500mm	4 本

業務箇所：東広島市黒瀬町切田が丘三丁目

工事名	切田田池3号線道路修繕工事		
図面名	各種構造図（参考図）		
作成年月日	令和 8年 3月		
縮 尺	1:20	図面番号	157 / 160
会社名	中国開発調査株式会社		
事業所名	東 広 島 市		

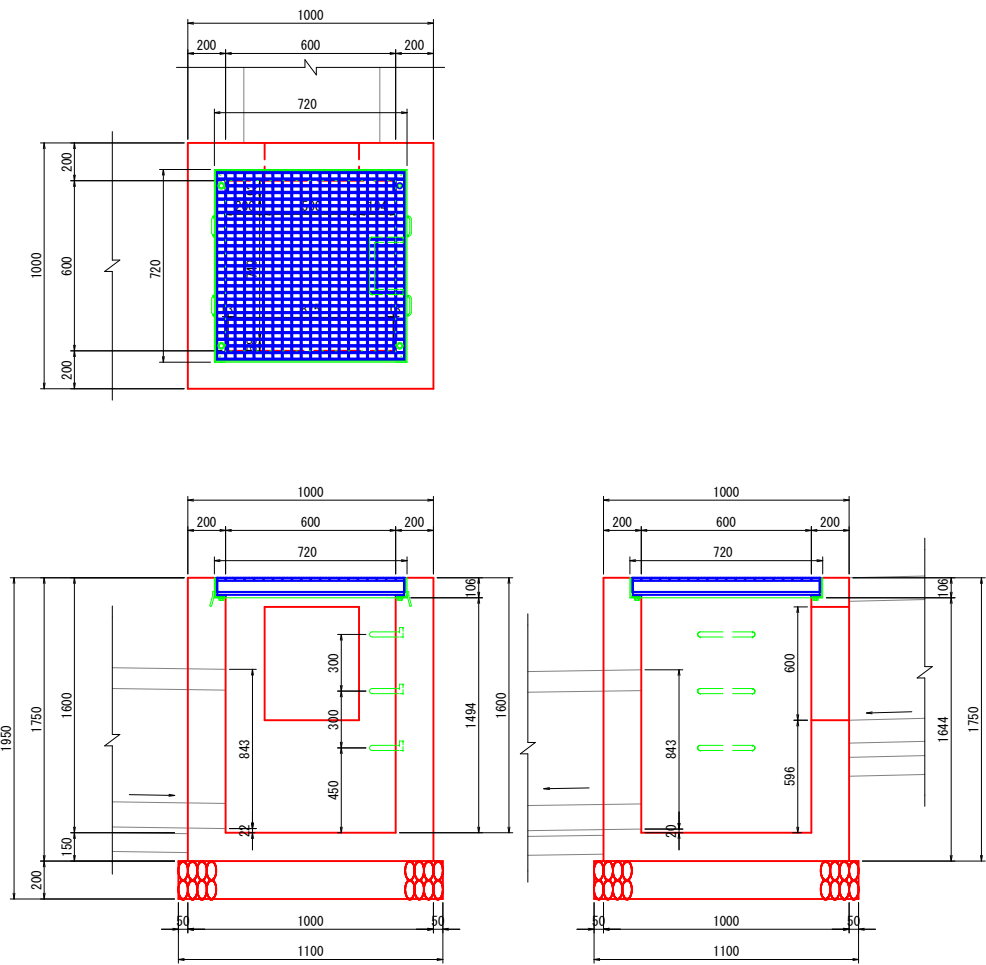
各種構造図

3号集水桧（600×600×1000） S=1:20



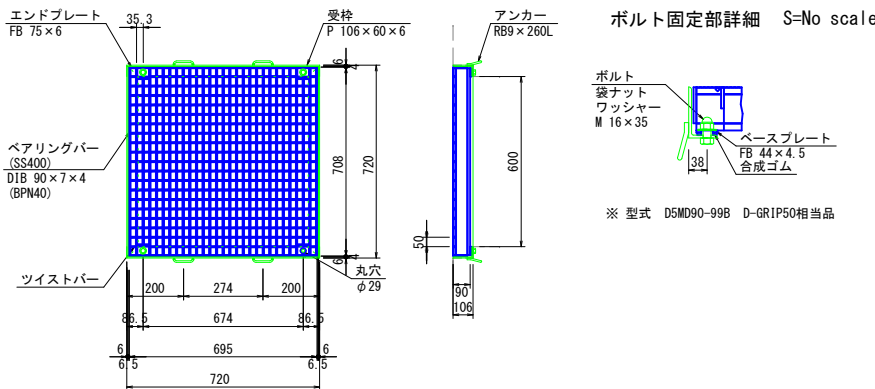
標準材料表		1基当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40	1.21 m2
	t=200mm	0.24 m3
型 枠	小 型	7.00 m2
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.57 m3
足掛ステップ	W=300	2 組
グレーチング	600×600 T-25	1 組

4号集水桧（600×600×1600） S=1:20



標準材料表		1基当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40	1.96 m2
	t=200mm	0.39 m3
型 枠	小 型	10.79 m2
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	1.19 m3
足掛ステップ	W=300	3 組
グレーチング	600×600 T-25	1 組

グレーチング詳細（600×600） S=1:20

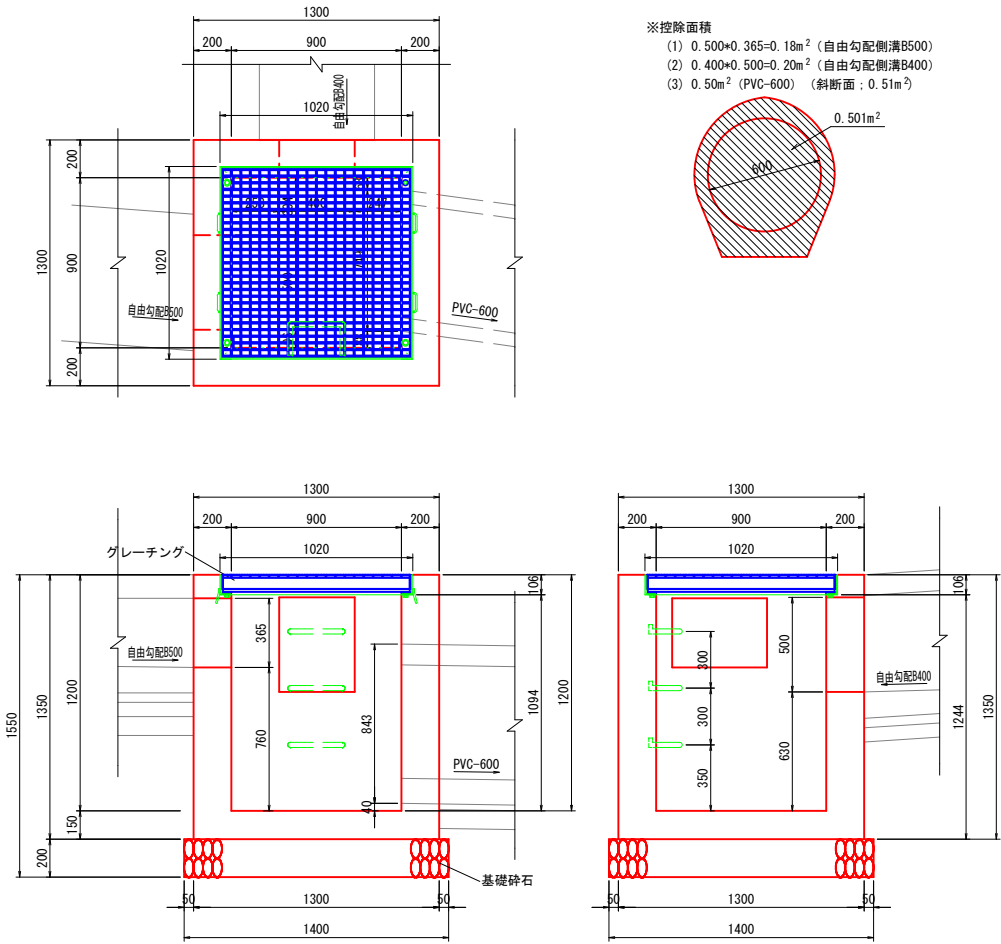


業務箇所：東広島市黒瀬町切田が丘三丁目

工事名	切田団地3号線道路修繕工事		
図面名	各種構造図		
作成年月日	令和 8年 3月		
縮 尺	1:20	図面番号	160 / 161
会社名	中国開発調査株式会社		
事業者名	東 広 島 市		

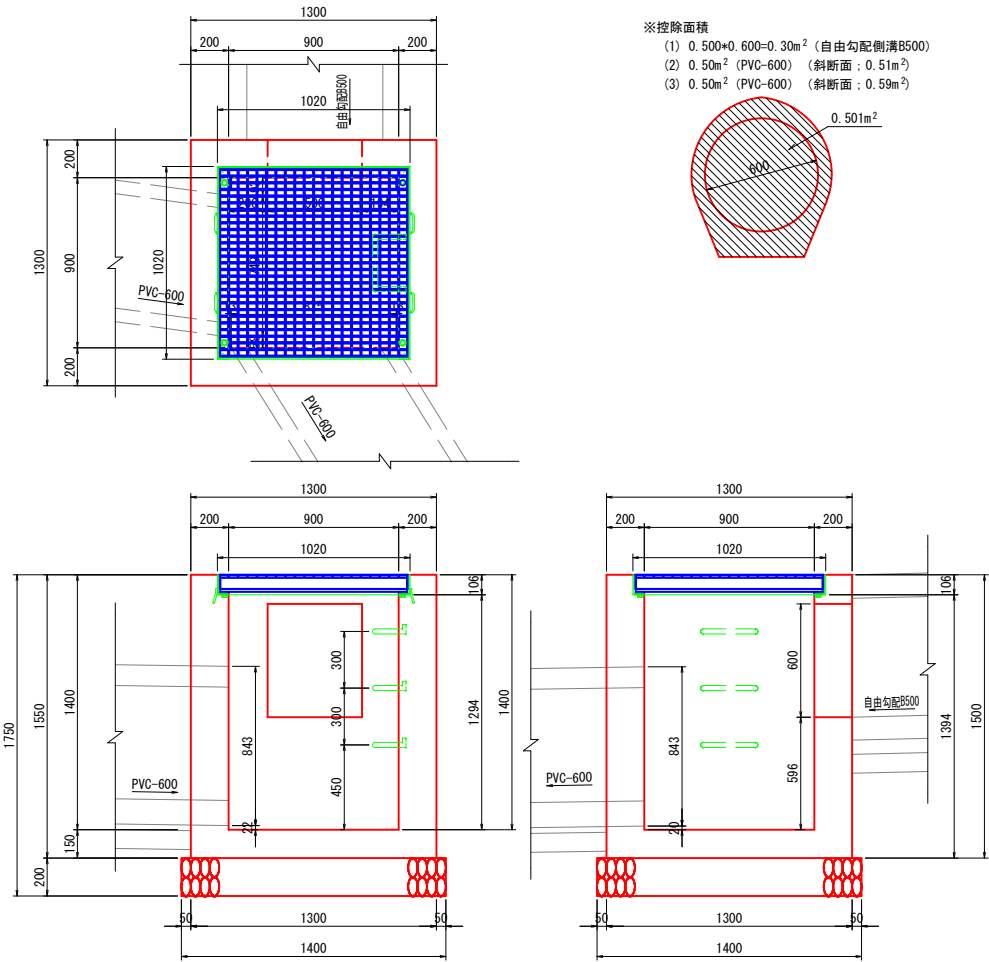
各種構造図

1号集水桝（900×900×1200） S=1:20



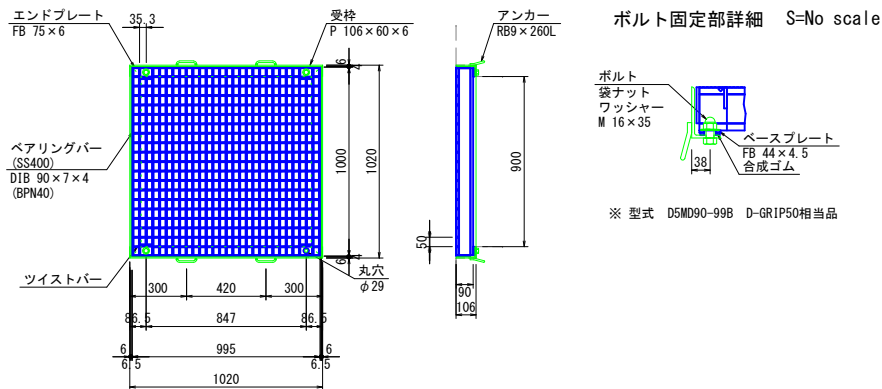
標準材料表		1基当り
名 称	規 格	数 量
基礎碎石	RC-40	1.96 m ²
	t=200mm	0.39 m ³
型 枠	小 型	11.11 m ²
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	1.31m ³
足掛ステップ	W=300	3 組
グレーチング	900×900 T-25	1 組

2号集水桝（900×900×1400） S=1:20

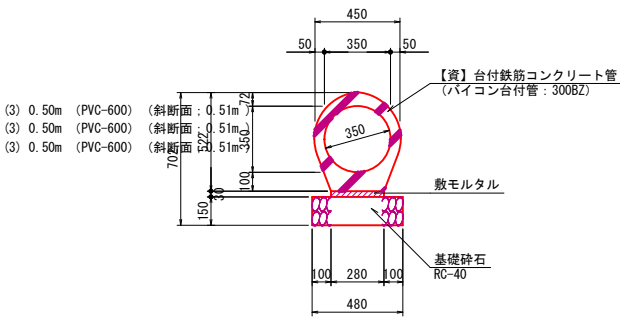


標準材料表		1基当り
名 称	規 格	数 量
基礎碎石	RC-40	1.96 m ²
	t=200mm	0.39 m ³
型 枠	小 型	10.79 m ²
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	1.45m ³
足掛ステップ	W=300	3 組
グレーチング	900×900 T-25	1 組

グレーチング詳細（900×900） S=1:20

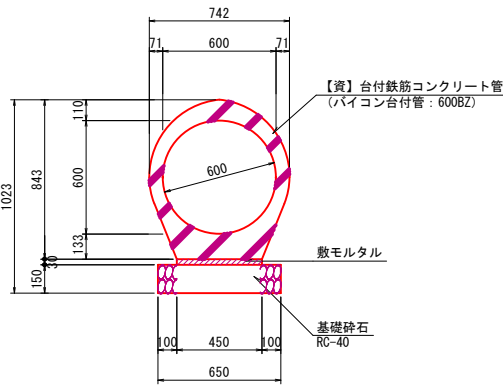


PVC-350 S=1:20



材料表		10m当り
種 別	規 格	数 量
基礎碎石	RC-40 t=150mm	4.800 m ²
敷モルタル	1:3 高炉B t=30mm	0.084 m ³
重 圧 管	D350 L=2000mm	5 本

PVC-600 S=1:20



材料表		10m当り
種 別	規 格	数 量
基礎碎石	RC-40 t=150mm	6.500 m ²
敷モルタル	1:3 高炉B t=30mm	0.135 m ³
パイコン台付管	600BZ L=2500mm	4 本

業務箇所：東広島市黒瀬町切田が丘三丁目

工事名	切田田地3号線道路修繕工事		
図面名	各種構造図（参考図）		
作成年月日	令和 8年 3月		
縮 尺	1:20	図面番号	160 / 161
会社名	中国開発調査株式会社		
事業者名	東 広 島 市		

参 考 図 書

工事名称 ： 令和8年度 道路維持修繕事業
切田団地 3 号線道路修繕工事

<注意事項>

1 本工事は、数量公開の対象工事です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

3 その他

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
砂質土	光陽建設(株)建設発生土リサイクルプラント	東広島市黒瀬町津江字イラスケ 21852-5	5.4km

・当該工事により発生する Co 殻は、再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
有筋 Co 殻 無筋 Co 殻	光陽建設(株)	東広島市黒瀬町津江 1860-5	5.4km

・当該工事により発生する Co 殻は、再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
As 殻	鹿島道路(株)広島東合材製造所	安芸郡熊野町字深原平 2668-32	6.3km

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 45 東広島市(黒瀬) 00-08.06.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 00 補正なし 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
	1	式			
排水構造物工					Y1E0109 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1E010901 レベル3
	1	式			
床掘り(掘削) 土砂					Y1E01090101レベル4
	100	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外					SPK25040001 00
	100	m3			単第0 -0001 表
埋戻し 土砂 (小規模)					Y1E01090103レベル4
	30	m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)					SPK25040020 00
	30	m3			単第0 -0002 表
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む)					Y1E01090111レベル4
	70	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.0km以下(5.5km超)	70	m3			SPK25040002 00 単第0 -0003 表
残土等処分	70	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費	70	m3			F000000100 00
側溝工	1	式			Y1E010903 レベル3
自由勾配側溝	126	m			Y1E01090304レベル4
自由勾配側溝 材料別途 1000≧重量 300用	28	m			SDT00015 00 単第0 -0004 表
自由勾配側溝 材料別途 1000<重量≦2000 300用	2	m			SDT00015 00 単第0 -0005 表
自由勾配側溝 材料別途 1000≧重量 400用	45	m			SDT00015 00 単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 材料別途 1000<重量≤2000 400用	2	m			SDT00015 00 単第0 -0007 表
自由勾配側溝 材料別途 1000≥重量 500用	27	m			SDT00015 00 単第0 -0008 表
自由勾配側溝 材料別途 1000<重量≤2000 500用	22	m			SDT00015 00 単第0 -0009 表
左側 材料費	1	式			V000000001 00 単第0 -0010 表
右側 材料費	1	式			V000000002 00 単第0 -0011 表
インバートコンクリート 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(普通)	4	m3			T0337 00
側溝蓋	95	枚			Y1E01090305レベル4
蓋版 材料別途 40≥重量	9	枚			SDT00017 00 単第0 -0012 表
蓋版 材料別途 40<重量≤170	86	枚			SDT00017 00 単第0 -0013 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【左側】側溝蓋材料費					V000000003 00
	1	式			単第0 -0014 表
【右側】側溝蓋材料費					V000000100 00
	1	式			単第0 -0015 表
管渠工					Y1E010904 レベル3
	1	式			
鉄筋コンクリート台付管 φ600					Y1E01090404レベル4
	5	m			
鉄筋コンクリート台付管 据付 管径600mm 台付鉄筋コンクリート管(重圧管)					SPK25040098 00
	5	m			単第0 -0016 表
集水桝・マンホール工					Y1E010905 レベル3
	1	式			
現場打ち集水桝 18-8-25(20)BB					Y1E01090502レベル4
	6	箇所			
現場打ち集水桝【左側23,26】 18-8-25(20)BB 600×600×1000 0.55m3を超え0.58m3以下					SPK25040104 00
	2	箇所			単第0 -0017 表
現場打ち集水桝【左側53】 18-8-25(20)BB 900×900×1200 1.29m3を超え1.36m3以下					SPK25040104 00
	1	箇所			単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場打ち集水桝【右側28,31】 18-8-25(20)BB 600×600×1600 1.15m3を超え1.22m3以下	2	箇所			SPK25040104 00 単第0 -0019 表
現場打ち集水桝【右側1】 18-8-25(20)BB 900×900×1400 1.44m3を超え1.52m3以下	1	箇所			SPK25040104 00 単第0 -0020 表
蓋 銅製グレーチング ますぶた 500×500用 T-25	6	枚			Y1E01090508レベル4
蓋版 材料別途 40<重量≤170	6	枚			SDT00017 00 単第0 -0013 表
ます蓋 グレーチング蓋 25 t	1	式			V000000007 00 単第0 -0021 表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3
コンクリート構造物取壊し	3	m3			Y1E01120601レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	1	m3			SDT00031 00 単第0 -0022 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工					SDT00033 00
	2	m3			単第0 -0023 表
舗装版切断 アスファルト舗装版					Y1E01120602レベル4
	142	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK25040307 00
	142	m			単第0 -0024 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版					Y1E01120603レベル4
	122	m2			
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK25040018 00
	122	m2			単第0 -0025 表
運搬処理工					Y1E011216 レベル3
	1	式			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし					Y1E01121601レベル4
	3	m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)					SPK25040155 00
	1	m3			単第0 -0026 表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)					SPK25040155 00
	2	m3			単第0 -0027 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎	3	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離5.5km以下(4.5km超)	6	m3			SPK25040155 00 単第0 -0028 表
殻処分 Co(無筋)	3	t			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
殻処分 (Co)	3	t			F000000200 00
殻処分 Co(鉄筋)	6	t			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
殻処分 (Co) 鉄筋	6	t			F000000500 00
殻処分 アスファルト	6	t			Y1E01121602レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
殻処分 (AS)					F000000200 00
	14	t			
舗装					Y1E02 レベル1
	1	式			
舗装工					Y1E0204 レベル2
	1	式			
アスファルト舗装工					Y1E020404 レベル3
	1	式			
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工					Y1E02040403レベル4
	80	m2			
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工					SPK25040237 00
	80	m2			単第0 -0029 表
表層(車道・路肩部) 再生密粒度アスファルト混合物 13mm 1層当り平均仕上厚40mm					Y1E02040409レベル4
	180	m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚40mm					SPK25040244 00
	80	m2			単第0 -0030 表

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(擦り付け部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚30mm	100	m2			SPK25040244 00 オーバーレイ 単第0 -0031 表
コンクリート張工	1	式			Y1E020412 レベル3
コンクリート張 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	44	m2			Y1E02041207レベル4
碎石投入	3	m3			SPK25040085 00 単第0 -0032 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	4	m3			SPK25040157 00 単第0 -0033 表
仮設工	1	式			Y1E0215 レベル2
交通管理工	1	式			Y1E021521 レベル3
交通誘導警備員	35	人			Y1E02152101レベル4
交通誘導警備員B	35	人			R0369 00

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
※※直接工事費※※ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額……… 率……………					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率……………					
※※工事原価※※					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率……………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率……………					当初請対額 当初対象額

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※ 計算情報…… 対象額…… 率……					
※※工事費計※※					
※※契約保証費計※※					

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 20.13%
SPK25040001
標準以外
71.97%
労務構成比:
材料構成比: 7.90%
市場単価構成比: 0.00%
単第0 -0001 表
標準単価: 1
m3 当り
2,678.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=8 土砂 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0014

埋戻し
土砂

SPK25040020
上記以外(小規模)

単第0 -0002 表

1
標準単価:

m3 当り
4,063.80000

機械構成比: 8.87%

労務構成比: 87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0015

埋戻し
土砂

SPK25040020

單第0 -0002 表

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 8.87%

勞務構成比：

87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

4,063.80000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0003 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離7.0km以下(5.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.25% 労務構成比:

71.03%

材料構成比: 8.72%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,319.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=31 距離7.0km以下(5.5km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

自由勾配側溝
材料別途 1000≧重量

SDT00015

単第0 -0004 表

300用

1

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャー 40～0mm	0.063	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.032	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.032	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 D=1 1000≧重量 F=1 -			B=51 材料別途 E=1 時間的制約なし G=2 RC-40		
I=0.525 基礎碎石の設計数量(m3/10m) L=0.3 基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			J=1 18-8-40BB M=2 小型車割増有り		

施工単価表

自由勾配側溝

SDT00015

単第0 -0005 表

材料別途 1000<重量≤2000

300用

1

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000を超え2000/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャー 40～0mm	0.063	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.032	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.032	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 D=2 1000<重量≤2000 F=1 -			B=51 材料別途 E=1 時間的制約なし G=2 RC-40		
I=0.525 基礎碎石の設計数量(m3/10m) L=0.3 基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			J=1 18-8-40BB M=2 小型車割増有り		

施工単価表

自由勾配側溝
材料別途 1000≧重量

SDT00015

単第0 -0006 表

400用

1

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシュラン 40～0mm	0.073	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランブ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.045	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.045	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 D=1 1000≧重量 F=1 -			B=51 材料別途 E=1 時間的制約なし G=2 RC-40		
I=0.607 基礎碎石の設計数量(m3/10m) L=0.426 基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			J=1 18-8-40BB M=2 小型車割増有り		

施工単価表

自由勾配側溝

SDT00015

単第0 -0007 表

材料別途 1000<重量≤2000

400用

1

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000を超え2000/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシュラン 40～0mm	0.073	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.045	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.045	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 D=2 1000<重量≤2000 F=1 -			B=51 材料別途 E=1 時間的制約なし G=2 RC-40		
I=0.607 基礎碎石の設計数量(m3/10m) L=0.426 基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			J=1 18-8-40BB M=2 小型車割増有り		

施工単価表

自由勾配側溝
材料別途 1000≧重量

SDT00015

単第0 -0008 表

500用

1

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャー 40～0mm	0.110	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランブ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.065	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.065	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 D=1 1000≧重量 F=1 -			B=51 材料別途 E=1 時間的制約なし G=2 RC-40		
I=0.92 基礎碎石の設計数量(m3/10m) L=0.615 基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			J=1 18-8-40BB M=2 小型車割増有り		

施工単価表

自由勾配側溝

SDT00015

単第0 -0009 表

材料別途 1000<重量≤2000

500用

1

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000を超え2000/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャー 40～0mm	0.110	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.065	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.065	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 D=2 1000<重量≤2000 F=1 -			B=51 材料別途 E=1 時間的制約なし G=2 RC-40		
I=0.92 基礎碎石の設計数量(m3/10m) L=0.615 基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			J=1 18-8-40BB M=2 小型車割増有り		

施工単価表

左側 材料費

V000000001

単第0 -0010 表

頁0 -0023

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 縦断用 300×600 L2000	10	本			
自由勾配側溝 縦断用 300×600 L1000	2	本			
自由勾配側溝 横断用 300×600 L2000	1	本			
自由勾配側溝 横断用 300×600 調整用	1	本			
自由勾配側溝 横断用 300×700 L2000	1	本			
自由勾配側溝 横断用 300×700 調整用	1	本			
自由勾配側溝 縦断用 400×600 L2000	17	本			
自由勾配側溝 縦断用 400×600 L1000	1	本			
自由勾配側溝 縦断用 400×600 135°コーナー	2	本			
自由勾配側溝 縦断調整用 400×700 L2000	2	本			
自由勾配側溝 縦断用 500×500 L2000	1	本			
自由勾配側溝 縦断用 500×500 調整用	1	本			

施工単価表

頁0 -0024

左側 材料費

V000000001

單第0 -0010 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

右側 材料費

V000000002

単第0 -0011 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 横断用 400×1400 L2000	1	本			
自由勾配側溝 横断用 調整用 400×1400 L1500	1	本			
自由勾配側溝 横断用 400×400 L2000	1	本			
自由勾配側溝 横断用 400×500 L2000	1	本			
自由勾配側溝 縦断用 500×700 L2000	6	本			
自由勾配側溝 縦断用 500×700 L1000	2	本			
自由勾配側溝 縦断用 500×700 調整用	1	本			
自由勾配側溝 縦断用 500×700 135°コーナー	6	本			
自由勾配側溝 縦断用 500×800 L2000	2	本			
自由勾配側溝 縦断用 500×900 L2000	1	本			
自由勾配側溝 縦断用 500×1000 L2000	2	本			
自由勾配側溝 縦断用 500×1100 L2000	1	本			

施工単価表

頁0 -0026

右側 材料費

V000000002

單第0 -0011 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

蓋版
材料別途 40 ≥ 重量

SDT00017

單第0 -0012 表

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

蓋版

SDT00017

單第0 -0013 表

材料別途 40<重量≤170

枚 当り

[illegible]

施工単価表

【左側】側溝蓋材料費

V000000003

単第0 -0014 表

頁0 -0029

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート蓋 300用 標準用 騒音対策用	17	枚			
コンクリート蓋 400用 標準用 騒音対策用	25	枚			
コンクリート蓋 500用 標準用 騒音対策用	3	枚			
鋼製グレーチング 溝ぶた 300用 側溝用 T-25	4	枚			
鋼製グレーチング 溝ぶた 400用 側溝用 T-25	6	枚			
鋼製グレーチング 溝ぶた 300用 側溝用横断用 T-25	2	枚			
コンクリート蓋 400用 135°コーナー	2	枚			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0030

【右側】側溝蓋材料費

V000000100

單第0 -0015 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

鉄筋コンクリート台付管

SPK25040098

単第0 -0016 表

据付 管径600mm

台付鉄筋コンクリート管(重圧管)

1 m 当り

機械構成比: 3.96% 労務構成比: 26.24% 材料構成比: 69.80% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 28,539.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	3.22%		バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t		MTPC00063 MTPT00063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	8.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.02%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	4.34%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.97%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
重圧管 内径600 質量1120kg	68.02%		鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm		TTPCD0416 TTPT00136
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.45%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0032

鉄筋コンクリート台付管

SPK25040098

單第0 -0016 表

据付 管径600mm

台付鉄筋コンクリート管(重圧管)

1 m 当り

機械構成比: 3.96% **勞務構成比:**

26.24% 材料構成比: 69.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価： 28,539.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

現場打ち集水桝【左側23,26】

18-8-25(20)BB 600×600×1000

機械構成比: 0.07% 労務構成比:

SPK25040104

0.55m3を超え0.58m3以下

85.25% 材料構成比: 14.68%

単第0 -0017 表

1

標準単価:

箇所 当り

82,266.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	0.07%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
型わく工	32.68%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	28.87%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	14.37%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPC00003 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.07%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0034

現場打ち集水桝【左側23,26】

SPK25040104

單第0 -0017 表

18-8-25(20)BB 600×600×1000

0.55m3を超え0.58m3以下

1

箇所 当り

機械構成比: 0.07% 勞務構成比:

85.25%

材料構成比: 14.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

82,266.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

現場打ち集水桝【左側53】

SPK25040104

単第0 -0018 表

18-8-25(20)BB 900×900×1200

1.29m3を超え1.36m3以下

1

箇所 当り

機械構成比: 0.06% 労務構成比:

83.28%

材料構成比: 16.66%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

171,600.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	0.06%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
型わく工	35.25%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	22.50%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	1.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	16.31%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPC00003 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0036

現場打ち集水桝【左側53】

SPK25040104

單第0 -0018 表

18-8-25(20)BB 900×900×1200

1.29m³を超え1.36m³以下

1

箇所 当り

機械構成比: 0.06% 勞務構成比:

83.28%

材料構成比: 16.66%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

171,600.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

現場打ち集水桝【右側28,31】

SPK25040104

単第0 -0019 表

18-8-25(20)BB 600×600×1600

1.15m3を超え1.22m3以下

1

箇所 当り

機械構成比: 0.06% 労務構成比:

83.51%

材料構成比: 16.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

155,680.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	0.06%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
型わく工	35.40%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	22.54%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	1.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	16.08%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPC00003 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0038

現場打ち集水桝【右側28,31】

SPK25040104

單第0 -0019 表

18-8-25(20)BB 600×600×1600

1.15m³を超え1.22m³以下

1

箇所 当り

機械構成比: 0.06% 労務構成比:

83.51%

材料構成比: 16.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

155,680.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

現場打ち集水桝【右側1】

SPK25040104

単第0 -0020 表

18-8-25(20)BB 900×900×1400

1.44m3を超え1.52m3以下

1

箇所 当り

機械構成比: 0.06% 労務構成比:

83.08%

材料構成比: 16.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

189,220.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	0.06%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
型わく工	35.12%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	22.46%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	1.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	16.52%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPC00003 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0040

現場打ち集水桝【右側1】

SPK25040104

單第0 -0020 表

18-8-25(20)BB 900×900×1400

1.44m³を超え1.52m³以下

1

箇所 当り

機械構成比: 0.06% **勞務構成比:**

83.08%

材料構成比: 16.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

189,220.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

ます蓋
グレーチング蓋 25 t

V000000007

單第0 -0021 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

構造物とりこわし工(無筋構造物)
機械施工

SDT00031

單第0 -0022 表

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0043

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)
機械施工

SDT00033

單第0 -0023 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0044

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0024 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0045

鋪裝版切断

SPK25040307

單第0 -0024 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

勞務構成比：

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

700.44000

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK25040018

単第0 -0025 表

機械構成比: 20.13% 労務構成比: 71.97% 材料構成比: 7.90% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,747.00000 1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0047

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

単第0 -0026 表
1
標準単価: 1,316.60000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

頁0 -0048

殻運搬
Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

単第0 -0027 表
1
標準単価: 1,632.50000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

頁0 -0049

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離5.5km以下(4.5km超)

単第0 -0028 表
1
標準単価: 4,751.40000

m3 当り
4,751.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=24 運搬距離5.5km以下(4.5km超)		

施工単価表

頁0 -0050

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0029 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57% 労務構成比: 37.08% 材料構成比: 51.35% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 637.83000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0051

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0029 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57% 労務構成比: 37.08% 材料構成比: 51.35% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 637.83000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30～0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0052

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK25040244

単第0 -0030 表

1層当り平均仕上厚40mm

機械構成比: 1.62% 労務構成比: 14.97% 材料構成比: 83.41% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,912.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4～3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.04%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.21%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.19%		タイヤローラ 質量3～4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	3.49%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.41%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0053

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下
機械構成比: 1.62%

SPK25040244
1層当り平均仕上厚40mm
労務構成比: 14.97%

材料構成比: 83.41%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0030 表

1
標準単価:

m2 当り
1,912.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	76.32%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	6.78%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.28%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 C=7 G=2 I=1	平均幅員1.4m以上3.0m以下 再生密粒度アスファルト混合物(13) 小型車割増有 -(全ての費用)		B=40 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0054

表層(擦り付け部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.44%

労務構成比:

SPK25040244

1層当り平均仕上厚30mm

10.68%

材料構成比: 87.88%

オーバーレイ

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0031 表

標準単価: 1

m2 当り

1,723.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.92%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0055

表層(擦り付け部)
平均幅員3.0m超
機械構成比: 1.44%

SPK25040244
1層当り平均仕上厚30mm
労務構成比: 10.68%

オーバーレイ
市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0031 表

1
標準単価:

m2 当り
1,723.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	84.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.57%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=7 G=2 I=1	平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(13) 小型車割増有 -(全ての費用)		B=30 E=1 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-4 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0056

碎石投入

SPK25040085

単第0 -0032 表

機械構成比: 6.28% 労務構成比: 86.76% 材料構成比: 6.96% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,885.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.5m3(平積0.4)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.28%		<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.5m3(平積0.4)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音		KTPC00038 KTPT00038
普通作業員	22.93%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	21.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	21.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	21.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.96%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0057

コンクリート

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

機械構成比: 0.00%

SPK25040157

人力打設

材料構成比: 71.32%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0033 表

1

標準単価:

m3

当り

30,615.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名		切田団地3号線 (1)			事業区分	
					工事区分	
工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単位	計算数量	計上数量	摘 要	
排水構造物工						
	作業土工					
	床掘り	土砂	m3	103.2	100	
	埋戻し	D領域 土砂	m3	31.8	30	
	残土処理工					
	土砂等運搬	土砂	m3	67.9	70	
	残土等処分	土砂	m3	67.9	70	
	側溝					
	自由勾配側溝（アート）	左側	m	72.2	72	1000kg未満
			m	2.0	2	1000kg以上
		右側	m	27.4	27	1000kg未満
			m	23.8	24	1000kg以上
			計	125.4	125	詳細は別紙
		インバート	m3	4.0	4	
	蓋					
	コンクリート蓋	防音 300用	枚	17.0	17	
		防音 400用	枚	25.0	25	
		防音 500用	枚	20.0	20	
		防音 400用 135°	枚	2.0	2	
		防音 500用 135°	枚	10.0	10	
	グレーチング	300用 25 t	枚	4.0	4	
		400用 25 t	枚	6.0	6	
		500用 25 t	枚	6.0	6	
	グレーチング【横断用】	300用 25 t	枚	2.0	2	
		400用 25 t	枚	3.0	3	計95枚
	集水柵					
	現場打ち	左側 600×600×1000	基	2.0	2	グレーチング 25 t
		左側 900×900×1200	基	1.0	1	グレーチング 25 t
		右側 600×600×1600	基	2.0	2	グレーチング 25 t
		右側 900×900×1400	基	1.0	1	グレーチング 25 t

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名		切田団地3号線 (1)				事業区分	
						工事区分	
工 種 ・ 種 別 ・ 細 別		規 格	単位	計算数量	計上数量	摘 要	
	管渠工						
		プレキャスト管渠	PVC-600	m	5.1	5	
舗装工							
	アスファルト舗装						
		表層（車道）	再生密粒度 t=5cm	m2	79.6	80	
		上層路盤（車道）	RM-30 t=10cm	m2	79.6	80	
		すり付け舗装	オーバーレイ t=5cm	m2	100.0	100	
	張コンクリート						
		コンクリート	t=10cm	m2	43.7	44	
		砕石	RC-40	m3	2.8	3	側溝内間詰
構造物撤去工							
	構造物取壊し工						
		舗装版切断	アスファルト t=5cm	m	142.2	142	
		舗装版破碎	アスファルト t=5cm	m2	121.9	122	
		コンクリート取壊し	鉄筋：側溝	m3	2.4	2	
		コンクリート取壊し	無筋	m3	1.2	1	
	排水構造物撤去工						
		U型側溝撤去	B300	m	0.3	-	取壊しへ
		ヒューム管撤去	φ600	m	0.8	-	取壊しへ
	運搬処理工						
		殻運搬処理	コンクリート殻 無筋	m3	1.2	1	2.8 t
		殻運搬処理	コンクリート殻 鉄筋	m3	2.4	2	6.0 t
		殻運搬処理	アスファルト殻	m3	6.1	6	14.3 t
仮設工							
	安全工						
		交通整理員		人	35.0	35	

[illegible]

[illegible]

【側溝 全体集計】

	側溝		Co蓋			Gr蓋(縦断)			Gr蓋(横断)			135° Co蓋			柵蓋
規 格	左 側	柵	300用	400用	500用	300用	400用	500用	300用	400用	500用	300用	400用	500用	Gr
左側	74.195	3.300	17	25	3	4	6	0	2	0	0	0	2	0	3
右側	51.191	3.300	0	0	17	0	0	6	0	3	0	0	0	10	3
計	125.386	6.600	17	25	20	4	6	6	2	3	0	0	2	10	6
重量			44.0	64.0	86.0	34.9	44.7	66.1	21.6	28.1	36.9	63.0	97.0	141.0	

	300用	400用	500用
左側	30.2	40.3	3.7
右側	0.0	6.5	44.7
小計	30.2	46.8	48.4
合計	125.4		

	基礎碎石	基礎Co
300用	0.525	0.300
400用	0.607	0.426
500用	0.920	0.615

	300用	400用	500用
1,000kg未満	28.2	44.8	26.6
1,000kg以上	2.0	2.0	21.8
計	30.2	46.8	48.4

蓋	枚数
40kg未満	9
40kg以上	86
計	

【左側 側溝】

		箇 所	側溝		Co蓋			Gr蓋(縦断)			Gr蓋(横断)			135° Co蓋			柵蓋
規 格	仕 様	番 号	左 側	柵	300用	400用	500用	300用	400用	500用	300用	400用	500用	300用	400用	500用	Gr
500×500		51	2.000				2										
	調整用	52	1.673				1										
□900×1200		53		1.300													1
400×600	135°	1	1.253												1		
	135°	2	1.253												1		
		3-19	34.000			22			6								
	L1000	20	1.000			1											
400×700	調整用	21	1.475			1											
	調整用	22	1.348			1											
□600×1000		23		1.000													1
300×700	【横断】	24	2.000								1						
	【横断】調整用	25	1.437		1												
□600×1000		26		1.000													1
300×600	【横断】	27	2.000								1						
	【横断】調整用	28	1.496		1												
300×600		29-35	14.000		8			3									
	L1000	36	1.000		1												
		37-39	6.000		4			1									
	L1000	40	1.000		1												
	調整用	41	1.260		1												
計			74.195	3.300	17	25	3	4	6	0	2	0	0	0	2	0	3
		300用	30.193														
		400用	40.329														
		500用	3.673														

【右側 側溝】

規 格		仕 様	簡 所	側溝	管渠	Co蓋			Gr蓋(縦断)			Gr蓋(横断)			135° Co蓋			柵蓋
規 格	仕 様	番 号	右 側	柵	φ600	300用	400用	500用	300用	400用	500用	300用	400用	500用	300用	400用	500用	Gr
すり付け部	柵一柵				4.130													
					0.980													
□900×1200		1		1.300														1
500×700	135°	2	1.298															1
	135°	3	1.298															1
		4	2.000								1							
	L1000	5	1.000					1										
	135°	6-9	5.192															4
	調整用	10	1.115					1										
	L1000	11	1.000					1										
		12-16	10.000					6			2							
500×800		17-18	4.000					2			1							
500×900		19	2.000					2										
500×1000		20-21	4.000					2			1							
500×1100		22	2.000					2										
500×1200		23	2.000								1							
	135°	24	1.298															1
500×1300	135°	25-26	5.192															2
500×1400	135°	27	1.298															1
□600×1700		28		1.000														1
400×1400	【横断】	29	2.000										1					
	【横断】調整用	30	0.500															
□600×1500		31		1.000														1
400×500	【横断】	32	2.000										1					
400×400	【横断】	33	2.000										1					
400×400																		
計			51.191	3.300	5.110	0	0	17	0	0	6	0	3	0	0	0	10	3
			23.788	1,000kg以上														
			27.403	未満														
			300用															
			400用	6.500														
			500用	44.691														

3号線(1) 左側数量表 (2)

呼び名 (a×c) (L) (種類)			数量(個)	備考	製品番号
300×600	2000	標準品	10		29-35, 37-39
	1000		2		40
	1259/1261	調整用	1	短切	41
		135° コーナー	4		43, 45-46, 48
400×600	2000	標準品	17		3-19
	1000		1		20
		135° コーナー	2		1-2
400×700	1516/1434	調整用	1	斜切	21
	1307/1388		1		22
500×500	2000	標準品	1		51
	1673	調整用	1	斜切	52
横断300×600	2000	標準品	1	ボルト固定	27
	1000	標準品	1	ボルト固定	47
	1492/1500	調整用	1	斜切 ボルト固定	28
	1466/1452	調整用	1	斜切 ボルト固定	49
横断300×700	2000	標準品	1	ボルト固定	24
	1437	調整用	1	短切	25
300×300×1000			1	T-25・ボルト固定	44
300×600×800			1	T-25・ボルト固定	50
300×600×1000			2	T-25・ボルト固定	42
600×600×1000		0.57m3	2	T-25・ボルト固定	23, 26
900×900×1200		1.31m3	1	T-25・ボルト固定	53

種類	呼び名	数量	備考
ノイズレス蓋	300 L= 500	17	
	400 L= 500	25	
	500 L= 500	3	
	400 135° 用	2	
グレーチング蓋	300 L=1000	4	縦断 T-25
	400 L=1000	6	
	300 L=500		横断 T-25 (嵩上げ)
	300 L=1000	2	横断 T-25
	400 L=1000		
	300 135° 用	8 (4組)	縦断 T-25 (2枚1組)

3号線(1)右側数量表 (2)

呼び名 (a×c) (L) (種類)		数量(個)	備考	製品番号
400×400	2000	標準品	9	34-42
	1959/1957	調整用	1	斜切 43
	1923/1922	調整用	1	斜切 86
	647/643	暗渠L=1000	1	斜切 65
		135° コーナー	7	44, 66-67, 87-90
400×500		135° コーナー	4	45-46, 68-69
400×600		135° コーナー	1	47
500×700	2000	標準品	6	4, 12-16
	1000	標準品	2	5, 11
	1115	調整用	1	短切 10
		135° コーナー	6	2-3, 6-9
500×800	2000	標準品	2	17-18
500×900	2000	標準品	1	19
500×1000	2000	標準品	2	20-21
500×1100	2000	標準品	1	22
500×1200	2000	標準品	1	23
		135° コーナー	1	24
500×1300		135° コーナー	2	25-26
500×1400		135° コーナー	1	27
横断400×400	2000	標準品	1	ボルト固定 33
	1351	暗渠L=2000	1	短切 71
横断400×500	2000	標準品	1	ボルト固定 32
	1259/1260	暗渠L=2000	1	斜切 52
	1000	暗渠L=1000	1	51
横断400×600	2000	標準品	1	ボルト固定 93
	1755	暗渠L=2000	1	短切 94
横断400×1400	2000	標準品	1	ボルト固定 29
	500	暗渠L=1000	1	短切 30
400×600×800			5	T-25・ボルト固定 48, 53, 70, 74, 91
400×600×1000			1	T-25・ボルト固定 95
400×600×1500			1	T-25・ボルト固定
600×600×1600		1. 17m3	2	T-25・ボルト固定 28 31
900×900×1400		1. 49m3	1	T-25・ボルト固定 1

種類	呼び名	数量	備考
ノイズレス蓋	400 L= 500	17	
	500 L= 500	17	
	400 135° 用	12	
	500 135° 用	10	
グレーチング蓋	400 L=1000	3	縦断 T-25
	500 L=1000	6	縦断 T-25
	400 L=1000	3	横断 T-25